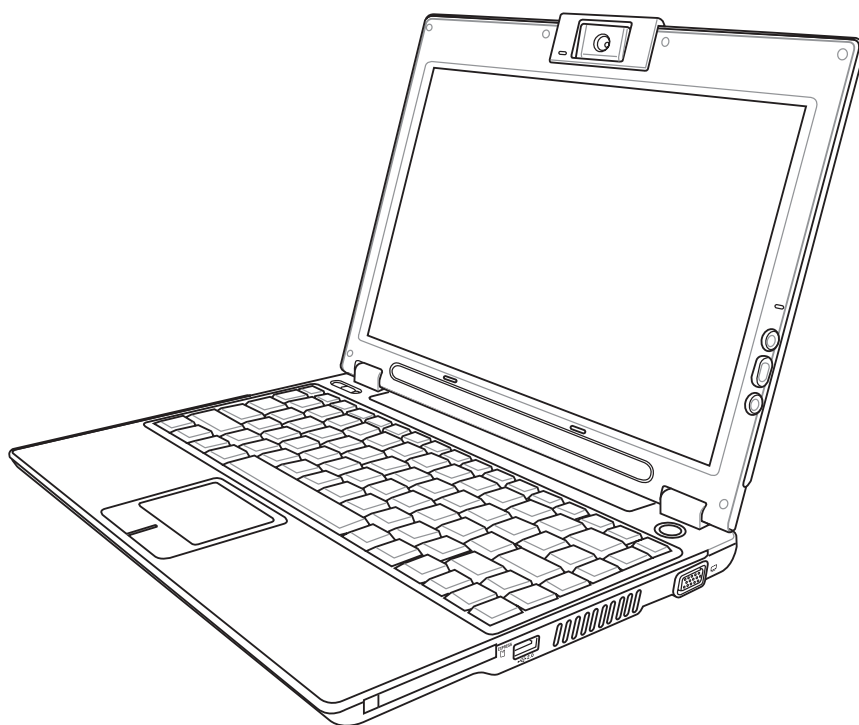


ノートパソコン ハードウェアユーザーマニュアル



目次

1. ノートパソコンの概要

本マニュアルについて.....	6
本マニュアルの表記について.....	6
ノートパソコンを準備する.....	9

2. 各部の名称と説明

上面.....	12
底面.....	14
左側.....	16
右側.....	18
背面.....	19
前面.....	20

3. 使用の手引き

パワーシステム.....	22
ACアダプターを使用する.....	22
バッテリーパックを使用する.....	23
バッテリーの取り扱い方.....	23
電源をオンにする.....	24
パワーオンセルフテスト (POST).....	24
バッテリーの残量の確認.....	25
バッテリーパックを充電する.....	25
再起動.....	26
電源をオフにする.....	26
キーボードを使用する.....	27
彩色されたホットキー.....	27
Microsoft Windows キー.....	29
キーボードを数値キーパッドとして使う.....	29
キーボードをカーソルとして使う.....	29
スイッチとステータスインジケータ.....	30
スイッチ (キーボード上).....	30
スイッチ (ディスプレイパネル).....	31
ステータスインジケータ.....	32

4. ノートパソコンを使用する

OS	34
サポートするソフトウェア	34
タッチパッド自動オフ(特定モデルのみ).....	34
ポインティングデバイス	35
タッチパッドを使用する	35
タッチパッドの使い方	36
タッチパッドの手入れ	37
記憶装置	38
拡張カードを挿入する	38
拡張カードを取り外す	38
光学ドライブ (外付けタイプ)	39
フラッシュメモ리카ードリーダー	42
ハードディスクドライブ	42
接続.....	43
モデム接続.....	43
ネットワーク接続	44
無線 LAN 接続 (特定モデルのみ).....	45
TPM (Trusted Platform Module) (特定モデルのみ)	46
電源管理	47
フルパワーモード&最大パフォーマンス	47
ACPI.....	47
サスペンドモード	47
省電力	47
電源状態の概要	48
熱パワーコントロール	48
スタンバイ&休止状態	49

付録

オプション (アクセサリ)	52
用語集.....	54
Declarations and Safety Statements	58
オーナー情報.....	68
Copyright について	69

1. ノートパソコンの概要

本マニュアルについて

本マニュアルの表記について

安全上の注意

ノートパソコンを準備する

1 ノートパソコンの概要

本マニュアルについて

本書は、ノートパソコンのユーザーマニュアルです。本書ではノートパソコンの構成部品の説明やその使い方について説明します。本書は以下の章から構成されています。



1. ノートパソコンの概要

ノートパソコンと本ユーザーマニュアルの概要です。

2. 各部の名称と説明

ノートパソコンの構成部品について解説します。

3. 使用の手引き

ノートパソコンを最初にお使いになる時に必要な情報です。

4. ノートパソコンを使用する

ノートパソコンの各機能の使い方です。

付録


オプションの紹介と参考資料です。

本マニュアルの表記について

注意事項等は重要性によって以下のように区別されています。

 **注:**作業を完了するために必要な追加情報です。

 **ヒント:**作業の参考になるヒントです。

 **重要:**本体の破損、データの消失および人体への障害を防止するために必ず行わなければならない事項です。

 **警告:**本体の破損、データの消失および人体への障害を防止するための情報です。

<> <> または [] で囲った文字は、キーボードのキーを示します。実際には、<> や [] を入力する必要はありません。

安全上の注意

ノートパソコンを末長くお使いいただくために以下の注意事項を守ってください。本マニュアルに記載されていない事項については、専門家に任せてください。損傷のある電源コードや周辺機器を使用しないでください。本体のお手入れに、シンナー・ベンジンなどの化学薬品を使用しないでください。



重要: ノートパソコンのお手入れの際は、電源を切りAC電源アダプターとバッテリーパックを取り外してください。清潔なスポンジまたはやわらかい布に研磨材の含まれていない洗剤を温水で薄めたものを数滴含ませ、汚れを拭き取ってください。最後に乾いた布を使って余分な水分を完全に取り除いてください。



禁止: 平らでない、不安定な場所に置かないでください。筐体を破損した場合には、代理店にご連絡ください。



禁止: 上に物を置いたり落としたりしないでください。内部に異物が入らないようにしてください。



禁止: ディスプレイを強く押したり、パネルを傷つけたり本体に入り込むような物とは一緒にしたりしないでください。



禁止: 強い磁気を近づけないでください。



禁止: ホコリや汚れの多い環境下に置かないでください。ガス漏れの恐れがある場所で使用しないでください。



禁止: 液体・雨・湿気を避けてください。雷が起きた時はモデムを使用しないでください。



禁止: ノートパソコンの使用中は、底面が熱くなります。ひざの上など人体に長時間接触させて使用すると火傷を負う恐れがあります。



バッテリーの管理: 火中に投げないでください。回路をショートさせないでください。分解しないでください。



安全な操作温度: このノートパソコンは 5°~35°の周辺温度で使用する必要があります。



入力定格: ノートパソコンの底部に記載があります。電源アダプターが対応していることを確認してください。



廃棄について: 本製品は電気製品/電子装置であり、地域のゴミと一緒に捨てられません。廃棄の際は、地方自治体の廃棄処理に関する条例及び規則等に従ってください。



禁止: 本製品の電源がオンのときは持ち運ばないでください。また、キャリーバッグに入れたり、カバーをしたりしないでください。通気が悪くなり故障の原因となります。

1 ノートパソコンの概要

運搬時の注意

ノートパソコンを持ち運ぶ場合は電源をオフにし、ディスプレイパネルを閉じてください。また電源をオフにした後、すべての外部周辺機器を取り外してください。電源がオフになるとハードディスクの表面を守るため、ハードディスクドライブのヘッドが戻ります。

 **重要:** ノートパソコン本体の表面の「ツヤ」は、正しく扱わないと失われてしまいます。本体表面をこすったりひっかいたりしないように注意してください。

ノートパソコンのケース

ノートパソコンを持ち運ぶ際には、汚れ・水・衝撃・傷から保護するために携帯用ケースを使用してください（ケースは別売りです）。




バッテリーの充電

バッテリーを使用する場合には、バッテリーパックをフル充電し、長時間使用する場合は予備のバッテリーパックを用意してください。ACアダプターがノートパソコンとコンセントに接続されていると、バッテリーは自動的に充電されます。ノートパソコンの電源がオンの場合は充電時間は長くなります。

航空機内での使用について

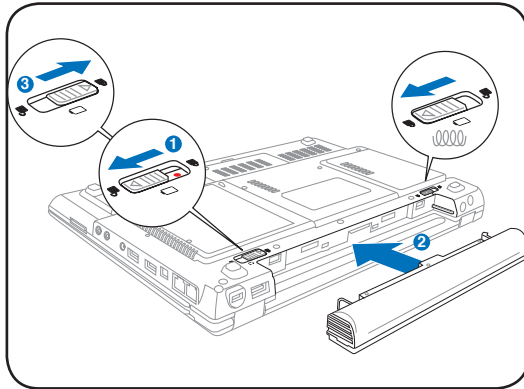
航空機内でのノートパソコンの使用については、各航空会社にお問い合わせください。多くの航空会社では、電子機器の使用に対して規定を設けています。一般的に離着陸時の電子機器の使用は禁止されています。

 **重要:** 空港のセキュリティ装置には3つのタイプがあります。X線装置（荷物用）、磁気センサ（セキュリティゲートを通過する人間用）、および磁気ワンド（人間や小物用の短い棒）です。ノートパソコンやハードディスクをX線装置に通すことは問題ありませんが、磁気センサや、磁気ワンドは避けてください。

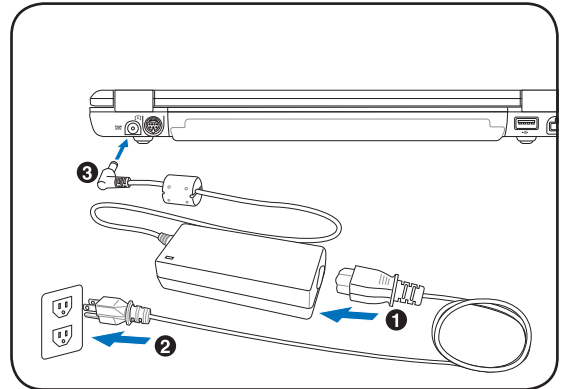
ノートパソコンを準備する

ノートパソコンの基本的な取り扱い方の説明です。

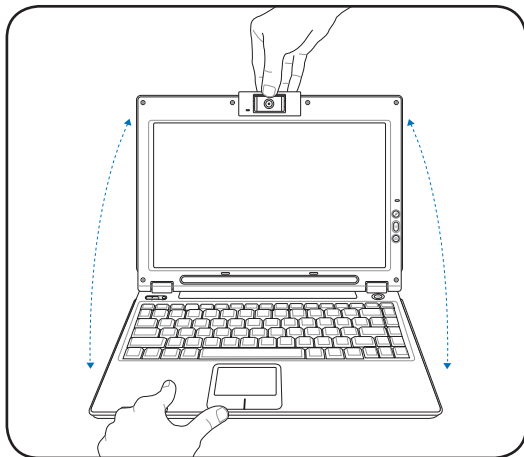
1. バッテリーパックの取り付け



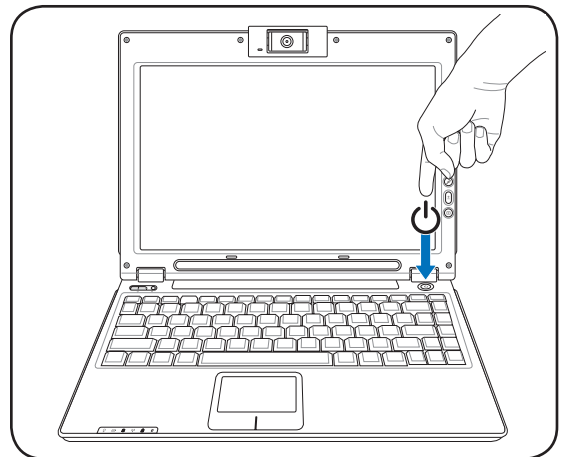
2. AC電源アダプターの接続



3. ディスプレイを開く



4. 電源をONにする



重要: ディスプレイを無理に開かないでください。ヒンジの破損の原因となります。また、ディスプレイを持ってパソコン本体を持ち上げないでください。

電源ボタンを押して離します。

(Windows XPでは、このボタンはノートパソコンの電源をオフにするときにも使用します)


2.各部の名称と説明

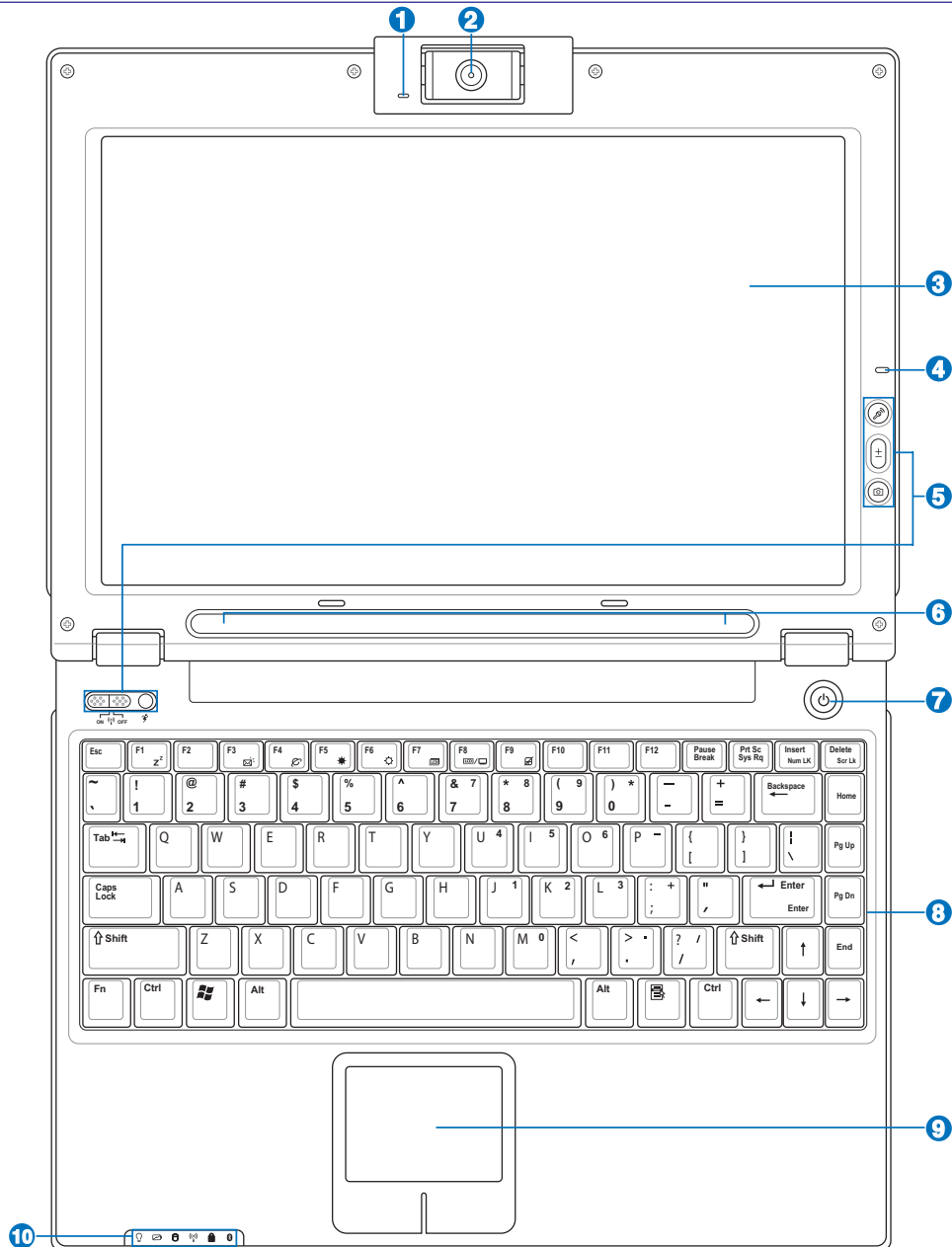
ノートパソコンの各部の名称について説明

2 各部の名称と説明

上面

下図はノートパソコン本体の上面の図です。

 注: 機能キーの位置はモデルによって異なります。



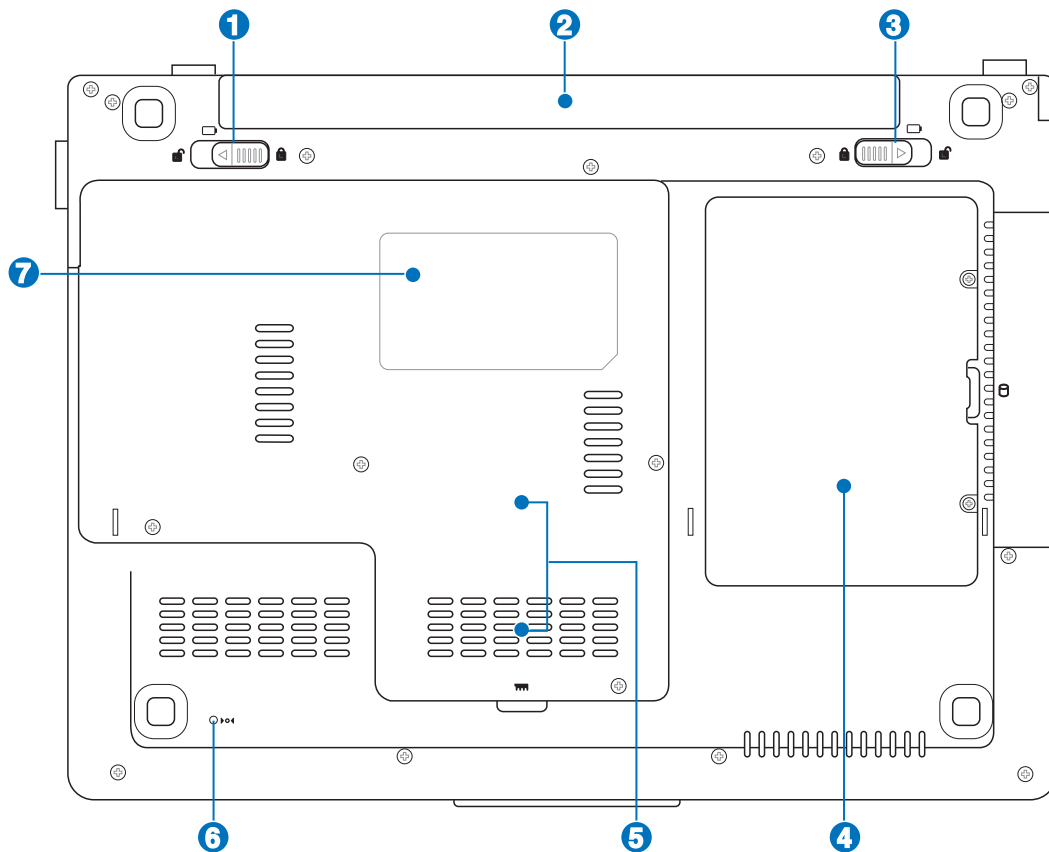
- 1**  **カメラインジケータ**
内蔵型カメラの使用時に点灯します。 
-
- 2**  **カメラ (特定モデルのみ)**
内蔵型カメラで画像と動画を記録できます。各アプリケーションやビデオ会議等にも活用できます。 
-
- 3**  **ディスプレイ**
ディスプレイはデスクトップパソコンのモニタと同じ役割です。本製品はアクティブマトリックスTFT液晶を採用しており、デスクトップモニタと変わらないすばらしい画像を表示することができます。また、CRTモニタとは異なり、液晶パネルは放射線を出さず、ちらつきもないため、目への負担が少なくなります。お手入れの際は、合成洗剤を含まない柔らかい布で汚れを拭き取ってください。(必要な場合は水を含ませてください) 
-
- 4**  **マイク (内蔵型)**
内蔵型モノマイクロホンは、ビデオ会議やナレーション、簡単な録音などの用途に使用できます。 
-
- 5**  **インスタントキー**
キーを1回押すだけで、よく使うアプリケーションを起動することができます。詳細はセクション3をご覧ください。 
-
- 6**  **オーディオスピーカー**
内蔵のステレオスピーカーシステムにより、特別な機能を追加せずに音楽をお楽しみいただけます。マルチメディアサウンドシステムはデジタルオーディオコントローラを搭載し、外部ステレオヘッドホンやスピーカーを使用することにより、より豊かで響くサウンドを作り出します。オーディオ機能はソフトウェア制御です。 
-
- 7**  **電源スイッチ**
ノートパソコンの電源のオン/オフを切り替えたり、休止状態 (STD) から復帰することができます。スイッチを1度押すとノートパソコンの電源がオンになり、もう1度押すとオフになります。Windows XPでは安全に電源をオフにするときにも使用します。電源スイッチはディスプレイパネルが開いているときのみ有効です。 
-
- 8**  **キーボード**
キーボードには楽に指を動かせる (キーを押し下げられる深さが深い) フルサイズキーと、両手を載せられるパームレストが付いています。また、Windows™ OS用に、Windows™ ファンクションキーが2つ付いています。 
-
- 9**  **タッチパッドとタッチパッドボタン**
ボタンの付いたタッチパッドはポインティング装置で、マウスと同じ機能があります。タッチパッドユーティリティをセットアップすれば、ソフトウェア制御のスクロール機能で、Windows やWebでの簡単なナビゲーションが可能になります。 
-
- 10**  **ステータスインジケータ (左正面)**
ハードウェア/ソフトウェアの状態を表示します。詳細はセクション3をご覧ください。 

2 各部の名称と説明

底面

下図はノートパソコン本体の底面の図です。

 注: 底面はモデルによって異なります。



警告: 充電中や操作中は、ノートパソコンの底面は高温になります。火傷の原因となるのでノートパソコンを膝または身体の他の部分に載せて操作しないでください。

1  **バッテリーロック (バネ状)**

バッテリーパックを入れると自動的にロックし固定します。バッテリーを取り外す際は、このロックを元の方向に戻してください。

**2**  **バッテリーパック**

バッテリーパックはACアダプターを接続すると自動的に充電し、ACアダプターが取り外されているときは、パソコンに電力を供給します。バッテリーパックを装備していれば、さまざまな場所でパソコンを利用することが可能です。バッテリー駆動時間はパソコンの使用法、仕様により異なります。バッテリーパックは分解しないでください。

**3**  **バッテリーロック (手動)**

バッテリーの取り付け/取り外しの際はこのロックを解除し、取り付け後はしっかり所定の位置にロックしてください。

**4**  **ハードディスクドライブのコンパートメント**


ハードディスクドライブは収納部に固定されています。ハードディスクドライブのアップグレードは正規サービスセンターまたは正規販売代理店へお問い合わせください。

**5**  **メモリ(RAM) コンパートメント**

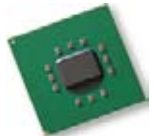
追加メモリ用です。メモリを追加するとHDDへのアクセスが減るため、アプリケーションのパフォーマンスが上がります。BIOS は自動的にシステム内のメモリの容量を検出し、POST 中にCMOSの設定を行います。メモリの設置後は、ハードウェア (BIOSも含む) やソフトウェアのセットアップは不要です。メモリの増設に関しては正規サービスセンター、正規販売代理店にお問い合わせください。最高のパフォーマンスを得るためにも、ご購入の際は正規販売代理店からお求めください。

**6**  **緊急シャットダウンボタン**

OSを正しく切ったり再起動したりできない場合、クリップなどでシャットダウンボタンを押してノートパソコンをシャットダウンしてください。

**7**  **CPU**

より高性能のプロセッサへのアップグレードに対応するため、ソケット型を採用しているモデルと、コンパクト設計ですがアップグレードのできないモデルがあります。詳しくは正規サービスセンター、正規販売代理店へお問い合わせください。

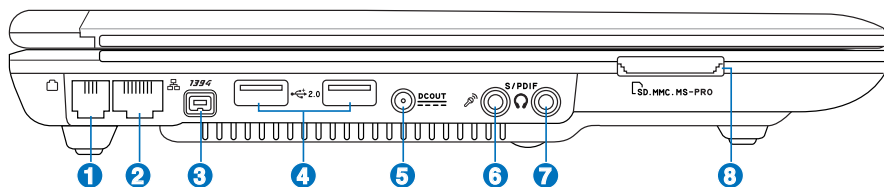


重要：CPUとハードディスクドライブをユーザーが取り外した場合、保証は無効となります。

2 各部の名称と説明

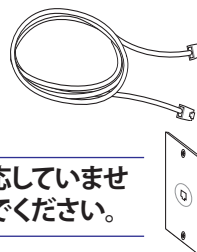
左側

下の図を参照して、ノートパソコンの左側にあるコンポーネントを確認してください。



1 モデムポート

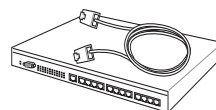
2ピンのRJ-11モデムポートはRJ-45 LANポートより小さく、標準の電話ケーブルをサポートします。内蔵モデムは最高56KV.90での転送速度をサポートします。増設アダプター不要の便利な内蔵コネクタです。



重要:内蔵モデムはデジタル電話システム (ISDN) で使用されている電圧には対応していません。破損の原因になりますので、デジタル電話システム (ISDN) には接続しないでください。

2 LANポート

8ピンのRJ-45 LANポートはRJ-11モデムポートよりも大きく、ローカルネットワークに接続するための標準イーサネットケーブルをサポートします。増設アダプター不要の便利な内蔵コネクタです。



3 IEEE1394ポート

IEEE1394はSCSIのような高速シリアルバスですが、USBのような簡単な接続機能とホットプラグ機能を備えています。IEEE1394のバンド幅は100~400Mbits/秒で、同じバス上で63ユニットまで接続することができます。IEEE1394はハイエンドデジタル機器も接続でき、DV(Digital Video)ポートとして広く利用されています。



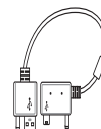
4 USBポート (2.0/1.1)

USBポートはキーボードやポインティングデバイス、ビデオカメラ、モデム、ハードディスクデバイス、プリンタ、モニター、スキャナーなどの、最高12Mbits/秒 (USB 1.1)の機器または、480Mbits/秒 (USB 2.0)に接続するUSB 2.0/USB 1.1 デバイスとの互換性があります。USBはハブのように機能するUSBキーボードやモニターなどの周辺機器と併用すれば、1台のコンピュータで同時に複数のデバイスの使用が可能になります。また、USBはホットスワップを採用しているので、周辺機器の取り付け・取り外しが再起動せずに行えます。



5 電源 (DC) 出力 (外部光学ドライブ用)

付属のケーブルを使用してこのジャックから外部光学ディスクドライブに電力を供給します。



6  **マイク入力ジャック**

モノラルマイクジャック(1/8 インチ)は、外付けのマイクの接続、またはオーディオデバイスからの出力を入力するときに使います。このジャックの使用により内蔵マイクは自動的に無効になります。ビデオ会議や、音声ナレーション、簡単な録音に使えます。

**7**  **S/P DIF 出力ジャック**

デジタルオーディオ出力のためのS/P DIF (Sony/Philips Digital Interface)デバイスを接続できます。hi-fi ホームエンターテインメントシステムとしてご利用できます。

**7**  **ヘッドホン出力ジャック**

ノートパソコンに外付けスピーカーまたはヘッドホンを接続するには、ステレオヘッドホンジャック (1/8 インチ)を使います。このジャックの使用を開始すると、内蔵スピーカーは自動的に無効となります。

**8**  **フラッシュメモリスロット**

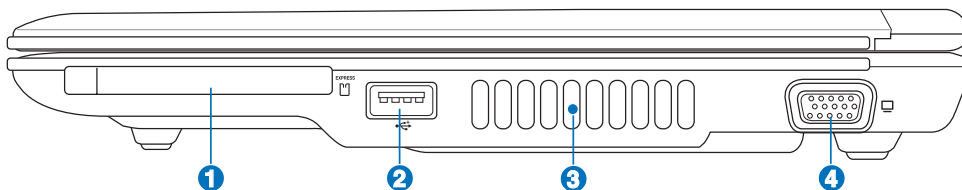
通常、デジタルカメラ、MP3 プレイヤー、携帯電話、PDA などのメモリカードをパソコンで使用するには、PCMCIA または USB メモリカードリーダーを別途ご購入いただく必要がありますが、このノートパソコンには数種類のフラッシュメモリカードを読み取ることのできるメモリカードリーダーが内蔵されています。この内蔵メモリカードリーダーは便利なだけでなく、広いバンド幅のPCIバスを採用しているのでほとんどのメモリカードリーダーよりも高速です。



2 各部の名称と説明

右側

下の図を参照して、ノートパソコンの右側コンポーネントを確認してください。



1 ExpressCard スロット

26ピンの Express Card スロットは、ExpressCard/34mm 1枚、または ExpressCard/54mm 拡張カード 1枚に対応しています。この新型インターフェースは、USB 2.0 と PCI Express に対応のシリアルバスを採用することで、以前使用されていたパラレルバスよりもより高速になりました。(旧型の PCMCIA カードには対応していません)



2 USB ポート (2.0/1.1)

USBポートはキーボードやポインティングデバイス、ビデオカメラ、モデム、ハードディスクデバイス、プリンタ、モニター、スキャナーなどの、最高12Mbps/秒 (USB 1.1)の機器または、480Mbps/秒 (USB 2.0)に接続するUSB 2.0/USB 1.1 デバイスとの互換性があります。USB はハブのように機能するUSBキーボードやモニターなどの周辺機器と併用すれば、1台のコンピュータで同時に複数のデバイスの使用が可能になります。また、USBはホットスワップを採用しているので、周辺機器の取り付け・取り外しが再起動せずに行えます。



3 通気孔

通気孔から熱を排出します。



重要:紙、本、衣類、ケーブルまたはその他の物で通気孔を塞がないようにしてください。オーバーヒートの原因となります。



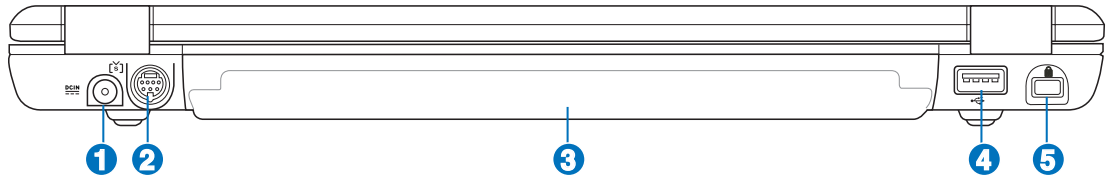
4 ディスプレイ(モニター)出力

D-sub 15ピンモニターポートは、モニターやプロジェクタなどの標準のVGA互換デバイスをサポートし、それらに画面を表示することが可能です。



背面

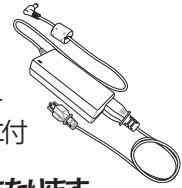
下の図を参照して、ノートパソコンの背面のコンポーネントを確認してください。



1 DC IN 電源(DC)入力

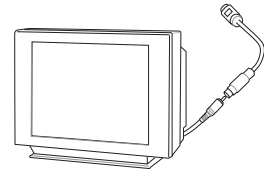
付属のACアダプターは、AC電源をDC電源に変換してこのジャックで使用できるようにするものです。このジャックから供給された電力はノートパソコンに供給されたり、内部のバッテリーパックを充電したりします。ノートパソコンやバッテリーパックが損傷しないように、常に付属のACアダプターを使用するようにしてください。

注:使用中は高温になることがあります。身体に密着して使用しないでください。火傷の原因になります。



2 TV出力ポート

このポートはS-VIDEOコネクタで、テレビやビデオデバイスへ接続します。デュアル/シングルディスプレイのいずれも可能です。S-VIDEOケーブル(別売)を使用して、テレビやビデオデバイスへの高解像度での接続も可能です。また、RCA入力と共に使用できるアダプターが付属しており、ほとんどのビデオ装置で利用できます。このポートは、NTSCまたはPALフォーマットをサポートします。



3 バッテリーパック

バッテリーパックはACアダプターを接続すると自動的に充電し、ACアダプターが取り外されているときは、パソコンに電力を供給します。バッテリーパックを装備していれば、さまざまな場所でパソコンを利用することが可能です。バッテリー駆動時間はパソコンの使用法、仕様により異なります。バッテリーパックは分解しないでください。



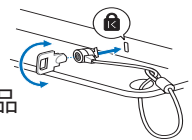
4 USBポート (2.0/1.1)

USBポートはキーボードやポインティングデバイス、ビデオカメラ、モデム、ハードディスクデバイス、プリンタ、モニタ、スキャナーなどの、最高12Mbps/秒(USB 1.1)の機器または、480Mbps/秒(USB 2.0)に接続するUSB 2.0/USB 1.1 デバイスとの互換性があります。USBはハブのように機能するUSBキーボードやモニタなどの周辺機器と併用すれば、1台のコンピュータで同時に複数のデバイスの使用が可能になります。また、USBはホットスワップを採用しているので、周辺機器の取り付け・取り外しが再起動せずに行えます。



5 Kensington® ロックポート

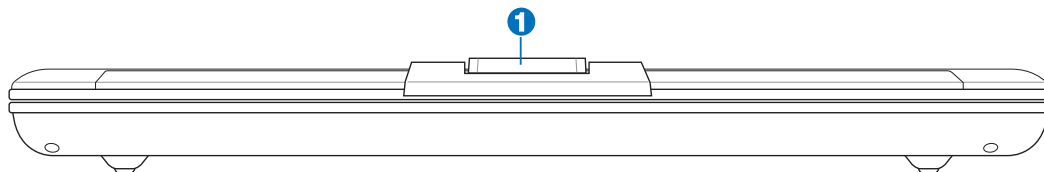
Kensington® 互換ノートパソコンセキュリティ製品と併用して、ノートパソコンを固定することができます。これらのセキュリティ製品には通常メタルケーブルとロックが含まれ、固定された物体からノートパソコンを取り外せないようにしてあります。一部のセキュリティ製品には、モーションディテクタが組み込んであり動かすとアラームが鳴るものもあります。



2 各部の名称と説明

前面

下図は、ノートパソコン本体の前面の図です。



1 ◎ カメラ (特定モデルのみ)

内蔵型カメラで画像と動画を記録できます。各アプリケーションやビデオ会議等にも活用できます。



3. 使用の手引き

ACアダプターを使用する
バッテリーパックを使用する
電源をオンにする
バッテリー残量の確認
再起動
電源をオフにする
キーボードを使用する
スイッチとステータスインジケータ

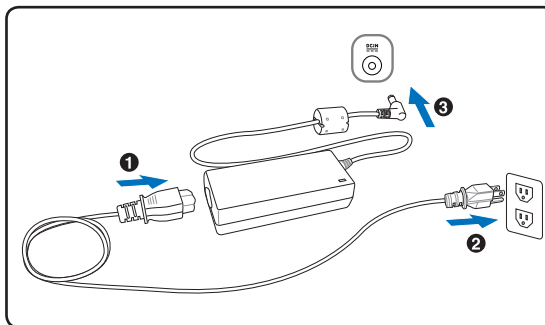
3 使用の手引き

パワーシステム



ACアダプターを使用する

ノートパソコンのパワーシステムには、ACアダプターとバッテリーパワーシステムの2つがあります。ACアダプターはAC電源をノートパソコンに使うためにDC電源へ変換するものです。このノートパソコンにはユニバーサルAC-DCアダプターが付属しているので、スイッチやコンバータを使わずに100V-120V および220V-240Vの電源に接続することができます。国によっては、変換アダプターを使用して、付属のAC電源コードを異なる規格に変更することが必要な場合もあります。通常、ホテルでは異なる電源コードと電圧をサポートするユニバーサルコンセントを備えていますが、電源アダプターを他の国で使う場合は、コンセントの電圧について事前にご確認ください。



他の国で使う場合は、コンセントの電圧について事前にご確認ください。



ヒント: ほとんどの国と地域に対応する、別売りのノートパソコン用トラベルキット(電源アダプター・モデムアダプター)を購入することもできます。

ACアダプターに接続したAC電源コードをまずコンセントに接続し、その後でDCプラグをノートパソコンに接続します。DCプラグをノートパソコンに接続する前に、まずACアダプターをコンセントに接続することによって、コンセントの電源とACアダプター本体の互換性を検査することができます。電源が許容範囲内であれば、アダプターの緑色の電源LEDが点灯します。



重要: 指定外のアダプターを使用してノートパソコンに電力を供給したり、添付のACアダプターと、AC電源コードを他の製品に使用したりしないでください。故障の原因となります。ACアダプターから煙が出たり燃える臭いがした場合や、ACアダプターが異常に熱くなった場合は修理に出してください。故障したACアダプターの使用はバッテリーパックとノートパソコンの破損の原因となります。



注: 本製品には、地域によって2芯または3芯のプラグが添付されています。3芯プラグの場合は、3芯用のコンセントまたは適応するアダプターを使用して安全にお使いください。



警告: 使用中は高温になることがあります。身体に密着して使用しないでください。火傷の原因になります。

バッテリーパックを使用する

本製品のバッテリーパックは取り外しが可能です。バッテリーパックは、電池をまとめて1つにしたもので、フル充電の状態なら何時間もの電力を供給します。また、BIOSでのパワーマネジメント機能を利用してより長く電力を保つことができます。予備のバッテリーパックは、ノートパソコン販売店で別途購入可能です。

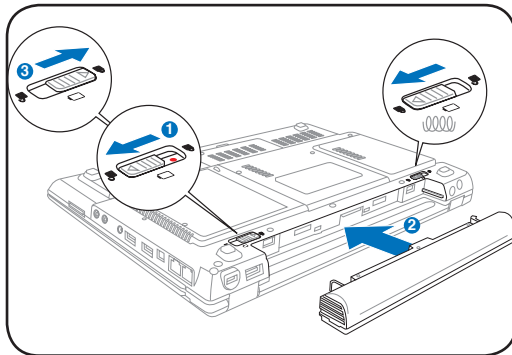
バッテリーパックの取り付けと取り外し

本製品には、バッテリーパックが取り付けられていない場合があります。バッテリーパックが取り付けられていない場合は、次の手順で取り付けてください。

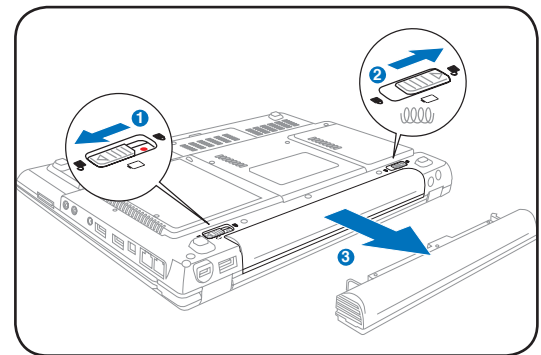


重要：ノートパソコンの電源をオンにしている時は、絶対にバッテリーパックを取り外さないでください。データ損失の原因となることがあります。

バッテリーパックの取り付け方法



バッテリーパックの取り外し方法



重要：バッテリーパックとACアダプターは、本ノートパソコンに付属するもの、または本モデル用にメーカーや販売店が指定したものを使用してください。

バッテリーの取り扱い方

ノートパソコンのバッテリーパックは、ほかの充電可能なバッテリーと同じく消耗品です。寿命は温度や湿度、およびノートパソコンの使い方によって異なります。理想的なバッテリーの操作温度範囲は5℃～35℃ですが、ノートパソコンの内部温度は外部温度より高くなることを考慮に入れる必要もあります。この範囲外の温度で使用すると、バッテリーの寿命は短くなります。また、正しく使った場合でも、バッテリーパックの稼働時間は次第に短くなります。バッテリーパックを買い換える際は、正規代理店にてお買い求めください。また、バッテリーは使わなくても寿命があるので、予備のバッテリーの買い置きはおすすめしません。




警告：安全のため、火中に投じないでください。回路をショートさせないでください。分解しないでください。衝撃により異常やダメージがバッテリーパックに発生した場合はノートパソコンの電源を切り正規サービスセンターにお問い合わせください。





3 使用の手引き

電源をオンにする

電源をオンにすると、ノートパソコンの電源オンメッセージがスクリーンに表示されます。必要に応じ、ホットキーを使用して輝度を調節することができます。システム構成を設定または修正するためにBIOSセットアップを実行する必要がある場合は、起動時に[F2]を押してBIOSセットアップに入ります。スプラッシュスクリーンの間に[Tab]を押すと、BIOSバージョンなどの起動情報が表示されます。[ESC]を押すと、利用可能なデバイスから選択して起動するための、起動メニューが表示されます。

 **注:** 起動する前に、再度電源をオンにするとディスプレイパネルが点滅します。これはノートパソコンのテストルーチンの一部で、ディスプレイの故障ではありません。

 **重要:** ハードディスクドライブを守るために、1度電源が切れてからもう1度電源を入れるまでに、5秒以上時間をおいてください。


 **警告:** 本製品の電源がオンの時は持ち運ばないでください。またキャリーバッグに入れたり、カバーをしったりしないでください。通気が悪くなり故障の原因となります。

パワーオンセルフテスト(POST)

ノートパソコンの電源をオンにすると、パワーオンセルフテスト(POST)と呼ばれる一連のソフトウェア制御の診断テストが実行されます。POSTを制御するソフトウェアは、ノートパソコンアーキテクチャの固定部分としてインストールされています。POSTには、ノートパソコンのハードウェア構成に関する記録が含まれており、システムの診断チェックを行うために使用されます。この記録は、BIOSセットアッププログラムを使用することによって作成されます。POSTが記録と既存のハードウェア間の相違を発見すると、BIOSセットアップを実行することによって、相違を訂正するように要求するメッセージがスクリーンに表示されます。テストが完了すると、ハードディスクにOSがインストールされていない場合は、「OSが見つかりません」というメッセージが表示されます。これは、ハードディスクが正しく検出され、新しいOSをインストールする準備ができたことを示します。

S.M.A.R.T.

S.M.A.R.T.(Self Monitoring and Reporting Technology)はPOST中にハードディスクドライブをチェックし、ハードディスクドライブを修理する必要がある場合、警告メッセージを表示します。起動中にハードディスクドライブの警告が表示されたら、データを直ちにバックアップしWindowsのディスクチェックプログラムを実行してください。Windowsのディスクチェックプログラムを実行するには、(1)[マイコンピュータ]で任意のハードディスクドライブのアイコンを右クリックし、(2)[プロパティ]を選択し、(3)[ツール]タブをクリックし、(4)[チェックする]をクリックし、(5)ハードディスクドライブを選択し、(6)[完了]を選択して物理的損傷をチェックし、(7)[スタート]をクリックします。SymantecのNorton Disk Doctorなどのサードパーティ製のディスクユーティリティは同じ機能を備えており、使いやすさと機能においてそれらのユーティリティのほうが勝っています。

 **重要:** ディスクチェックユーティリティを実行した後にも、起動中にメッセージが表示される場合、ノートパソコンを修理に出す必要があります。そのまま使用すると、データが失われることがあります。

バッテリーの残量の確認

電源オプションはWindowsのコントロールパネルにあります。この機能ではバッテリー残量をパーセンテージで正確に表示します。フル充電のバッテリーで2～3時間ノートパソコンを起動させることが可能ですが、実際は、省電力機能をどのように使うか、またCPUやメモリ、ディスプレイパネルのサイズによっても異なります。


バッテリーの残量を確認するためには、カーソルを電源アイコンへ動かします。電源アイコンはバッテリー使用中は「電池」の絵です。電源に接続中は「プラグ」になっています。詳細と設定については、アイコンをダブルクリックしてください。




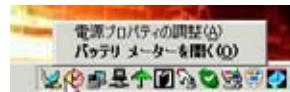
バッテリー残量を確認するためには、カーソルをバッテリーアイコンへ動かしてください。



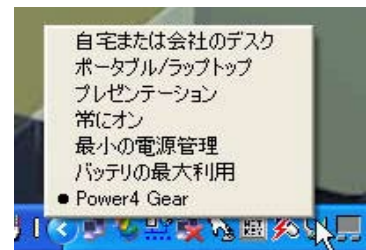
ACアダプターの使用中は、充電状況が表示されます。

 **注：**バッテリー残量が少ないままパソコンを使い続けると、パソコンはスタンバイ状態になります。(Windows 初期設定値はSTR)


 **注：**右の4枚の写真は参照用です。実際はシステムにより異なる場合があります。



バッテリーアイコンを右クリックするとサブメニューが表示されます。





電源管理の設定は、バッテリーアイコンをクリックしてください。

 **警告：**スタンバイとはSuspend-to-RAM (STR) のことで、バッテリー残量が少ないと長くは維持できません。また、休止状態とはSuspend-to-Disk (STD) のことで、消費電力は大幅に減りますが、これも電源がOFFの状態とは異なるので、電源が完全になくなるとパソコンは切れてしまいます(電源アダプターもバッテリーも取り外した場合など)。

バッテリーパックを充電する

外出先でノートパソコンを使用する前に、まずバッテリーパックを充電する必要があります。ノートパソコンにACアダプターを接続することで充電は開始されます。新しいバッテリーパックを使用の際は、バッテリーパックをフル充電してください。バッテリーパックを完全に充電するのに、電源をオフにしているときは2～3時間かかり、オンにしているときはその倍の時間がかかります。バッテリーパックの充電が完了すると、バッテリーの充電ランプがオフになります。

 **注：**気温が高すぎたり、電圧が高すぎるとバッテリーは充電されません。これらバッテリーの充電制御はBIOSの Smart Battery Refreshing Function でコントロールされています。正常に充電できない場合は充電を中止し、正規サービスセンター にお問い合わせください。

 **警告：**バッテリーは放電状態のまま放置しないでください。充電できなくなることがありますので、使用しないときは最低3ヶ月に1回充電してください。

3 使用の手引き

再起動

OSの設定を変更した後などは、システムを再起動するように求められます。一部のインストール手順は、再起動を可能にするダイアログボックスを表示します。システムを手動で再起動する方法は以下の通りです。

[スタート]ボタンをクリックし、[終了オプション]→[再起動]を選択します。



画面表示は、セキュリティの設定によって異なります。

電源をオフにする



Windows XPの場合は、本製品は[スタート]→[シャットダウン]→[電源オフ (またはシャットダウン)]で電源をオフにすることができます。適切な電源管理を持たないOS(DOS、Windows NT)の場合は、アプリケーションと既存のOSを終了させてから電源スイッチを2秒間押してノートパソコンの電源をオフにする必要があります。電源スイッチを2秒間押すのは、偶発的に電源を切断してしまわないための処置です。

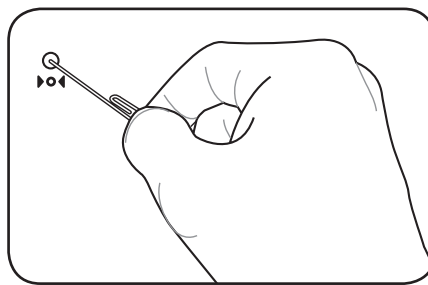
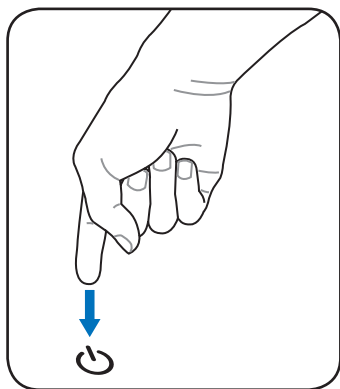


重要: HDD の保護のため、電源をオフにしてからもう1度電源を入れるまで最低5秒待機してください。

緊急のシャットダウン

ご使用のOSを適切にオフにしたり再起動したりできなくなった場合は、以下の方法でノートパソコンをシャットダウンします。

(1) 電源ボタン  を4秒以上押し続ける、または、(2) 緊急シャットダウンボタン  を押します。



ヒント: クリップなどを使って緊急シャットダウンボタンを押してください。



重要: データ書き込み中に、緊急シャットダウンをしないでください。データ破損の原因となります。

キーボードを使用する

彩色されたホットキー

ここではノートパソコンのキーボードにある彩色されたキーを説明します。彩色されたコマンドは、彩色されたコマンドが書かれたキーを押しながら、機能キーを押し下げることによってアクセスすることができます。



 **注: 機能キーの位置はモデルによって異なりますが、機能は同じです。**



Zz アイコン(F1): ノートパソコンをスタンバイ状態にします。Save-to-RAM または Save-to-Disk は電源管理セットアップでのスリープボタンの設定により決定されます。



ラジオタワー (F2): 無線モデルのみ: オンスクリーンディスプレイ機能で内部無線 LAN または Bluetooth (特定モデルのみ)のオン/オフを切り替えます。有効時は、対応する無線インジケータが点灯します。無線LANまたはBluetoothを使用するにはWindowsのソフトウェアの設定が必要です。



封筒アイコン (F3): Windows 動作中に押すとメーラーを起動できます。



「e」アイコン(F4): Windows 動作中に押すとインターネットブラウザを起動することができます。



黒い太陽アイコン(F5):
ディスプレイの輝度を下げます。



白い太陽アイコン(F6):
ディスプレイの輝度を上げます。



LCDアイコン(F7): ディスプレイパネルのオン/オフを切り替えます。また、このアイコンは低解像度モードを使用しているときに画面を全画面表示にすることができます (一部のモデル)。



LCD/モニターアイコン(F8): ノートパソコンの液晶ディスプレイと外部モニタを次のように切り替えます: ノートパソコンの液晶→外部モニター→両方(この機能は256色モードでは動作しません。画面のプロパティ設定でHigh Color (ハイカラー) 選択してください)。
注意: 外部モニタはノートパソコンを起動する前に接続してください。



クロスアウトタッチパッド (F9): 外付けのマウスを使用しているときに押すと、タッチパッドがロックされて使用できなくなり、タイプのミスを防ぎます。ロックを解除するにはもう一度押ししてください。注: タッチパッドが有効になっているときは、タッチパッドの間にあるインジケータが点灯します。



スピーカーアイコン (F10):
スピーカーのオン/オフを切り替えます。(Windows OSのみ)

3 使用の手引き

彩色されたホットキー(続き)



スピーカーダウンアイコン(F11):

スピーカーの音量を下げます。(Windows OSのみ)



スピーカーアップアイコン(F12):

スピーカーの音量を上げます。(Windows OSのみ)



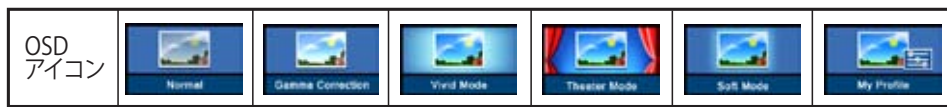
Num Lk (Ins): 数値キーパッド (数字ロック) のオン/オフを切り替えます。数字入力時にキーボードの大部分を使用できるようにします。



Scr Lk (Del): 「スクロールロック」のオン/オフを切り替えます。セルをナビゲーションする場合に、キーボードの大部分を使用できるようにします。



n+C: 「Splendid Video Intelligent Technology」機能のオンとオフを切り替えます。この機能はコントラスト、明るさ、色調、彩度 (赤、緑、青を個々に調整) を変更してディスプレイの色彩モードを変える機能です。現在のモードはオンスクリーンディスプレイ (OSD)機能で確認することができます。



Microsoft Windows™ キー

キーボードには下の説明のように、2つの特別なWindows™キーがあります。



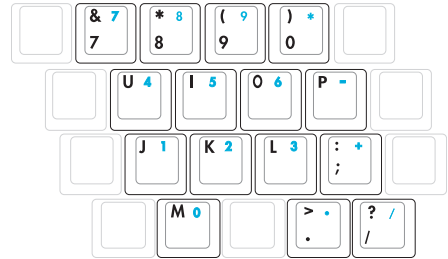
Windows™ロゴの付いたキーは、Windows™画面の左下にある[スタート]メニューを有効にします。



小さなカーソルの付いたWindows™メニューのように見えるキーはプロパティメニューを有効にし、Windows™オブジェクトの右マウスボタンを押すのと同じ働きをします。

キーボードを数値キーパッドとして使う

数値キーパッドはキーボードに数字が書かれた15のキーからなり、頻繁な数字入力を簡単にします。これらの2つの目的を持ったキーは、キーキャップにオレンジ色のラベルで数字が書かれています。数字の割り当ては、図に示すようにそれぞれのキーの右上隅に記してあります。[Fn][Ins/Num LK]を押して数値キーパッドを有効にしているとき、数値ロックLEDが点灯します。また、外部キーボードを接続しているとき、外部キーボードの [Ins/Num LK] を押すことで両方のキーボードのNumLockの有効/無効を同時に切り替えることができます。外部キーボードのキーパッドを有効に保ちながら数値キーパッドを無効にするにはノートパソコンの [Fn][Ins/Num LK] キーを押します。

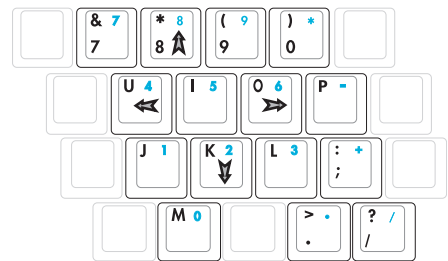


キーボードをカーソルとして使う

キーボードをカーソルとして使用すると、スプレッドシートまたはそれに類似したアプリケーションに数値データを入力するときの操作性が上がります。

数字ロックがオフのときは、[Fn]と右に示すカーソルキーのどれかを押します。例えば、[Fn][8]は上に、[Fn][K]は下に、[Fn][U]は左に、[Fn][O]は右に移動します。

数値ロックをオンにしているときは、[Shift]と右に示すカーソルキーのどれかを使用します。例えば、[Shift][8]は上に、[Shift][K]は下に、[Shift][U]は左に、[Shift][O]は右に移動します。

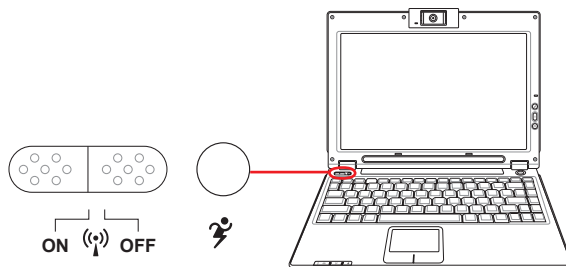


図の矢印記号は一例です。実際のキーボードのラベルはこれとは異なることがあります。

3 使用の手引き

スイッチとステータスインジケータ

スイッチ (キーボード上)



無線スイッチ

内蔵無線 LAN と Bluetooth (特定モデルのみ) のオンとオフを切り替えます。有効にすると対応する無線インジケータが点灯します。無線 LAN と Bluetooth を使用するには Windows ソフトウェアの設定が必要です。

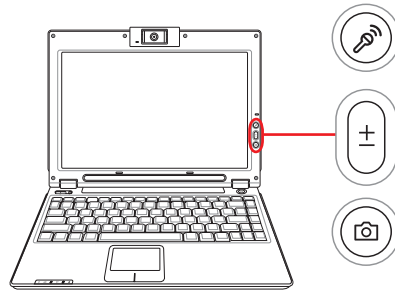
Power4 Gear+ Key

Power4 Gear+ ボタンは、さまざまな省電力モードを切り替えます。省電力モードはノートパソコンを制御し、パフォーマンス対バッテリー時間を最大化します。

ACアダプターを使用しているとき、Power4 Gear+ はAC電源モードセグメントで5つのモードを切り替えます。ACアダプターを取り外すと、Power4 Gear+ はバッテリー(DC)モードセグメントで7つのモードを切り替えます。ACアダプターを取り外したり適用したりするとき、Power4 Gear+ は自動的に動作して適切なモード(ACまたはDC)に切り替わります。

バッテリーモード				ACモード		
 High Performance	 Game	 DVD movie	 Quiet Office	 Super Performance	 High Performance	 Game
 Presentation	 CD-Audio	 Battery Saving		 Presentation	 Quiet Office	

スイッチとステータスインジケータ (続き) スイッチ (ディスプレイパネル)



マイクミュートボタン

マイクの音量をゼロにするとき使用します。



カメラズーム ボタン

ズームイン、ズームアウトする際に使用します。



カメラボタン

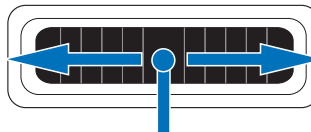
画像を撮影するときに使用します。使用する際には、Windows のソフトウェアの設定が必要です。

オーディオボリュームコントロール

スプリング式つまみで音量をコントロールします (360°は回転しません)。音量をコントロールする際はOn-Screen Display が表示されます。



音量が下がります。



音量が上がります。

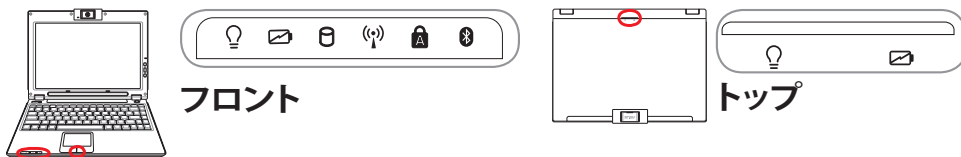


押すとミュート機能が切り替わります。



3 使用の手引き

ステータスインジケータ



💡 電源インジケータ

グリーンの電源インジケータが点灯しているとノートパソコンの電源がオンになっていることを、点滅しているとノートパソコンがスタンバイモードに入っていることを示します。このLEDは、ノートパソコンがオフまたは休止モードになっているときオフになります。

🔋 バッテリー充電インジケータ

バッテリー充電インジケータは、次のようにバッテリーのステータスを示します。

オン: ノートパソコンのバッテリーを充電中です。

オフ: ノートパソコンのバッテリーが充電されたか、バッテリー残量が完全になくなりました。

点滅: オンのとき、バッテリーの残量が10%以下でアダプターが接続されていない状態です。



💾 ドライブアクティビティインジケータ

ノートパソコンがハードディスクなどの1つまたは複数の記憶装置にアクセスしていることを示します。ランプはアクセス時間に比例して点滅します。



📶 ワイヤレス LAN インジケータ

このボタンは、ワイヤレス LAN (WLAN) を内蔵するモデルでのみ使用可能です。このインジケータが点灯していると、ノートパソコンに内蔵の WLAN 機能がアクティブになっていることを示します。(Windows ソフトウェア設定が必要です)



🔒 Caps Lock インジケータ

ランプがついているとき、Caps Lock がアクティブになっていることを示します。Caps Lock によって、大文字 (例、ABC) を入力できるようになります。Caps Lock ランプがオフになっているとき、入力された文字は小文字 (例、a b c) になります。



📶 Bluetooth インジケータ

Bluetooth (BT) 機能内蔵モデルのみです。ノートパソコンの内蔵 BT 機能が有効になっているときに点灯します。

🖱️ パッドロックインジケータ(タッチパッドボタンの中央)

このインジケータは内蔵タッチパッドがアンロック(有効)の状態点灯します。タイピング中にカーソルが動かないようにする場合や、外付けポインティングデバイスを使用する場合に、タッチパッドをロックします。



4. ノートパソコンを使用する

OS

ポインティングデバイス

記憶装置

接続

 モデム接続

 ネットワーク接続

 無線 LAN 接続

電源管理モード

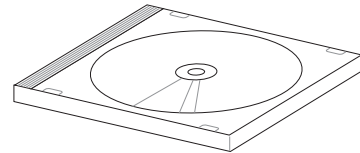
4 ノートパソコンを使用する

OS

本ノートパソコンのOSには、プレインストールされたMicrosoft Windows XP を使用します。選択できるOSと言語は地域によって異なります。ハードウェアとソフトウェアのサポートのレベルは、インストールされているOSによって異なります。サポートされていないOSの安定性と互換性は保証できません。

サポートするソフトウェア

本ノートパソコンにはBIOS、ドライバ、アプリケーションの含まれたサポートCDが付属しており、ノートパソコンのハードウェア特性を有効にし、機能を拡張し、管理を容易にし、さらにはOSで提供していない機能を追加します。サポートCDに含まれているドライバなどの更新や交換が必要になった場合は、Webサイトから個別のソフトウェアドライバやユーティリティをダウンロードしてください。



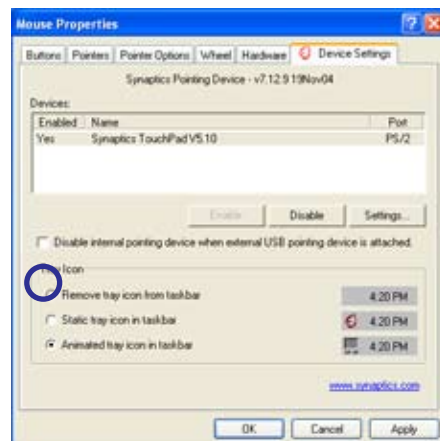
サポートCDには、プレインストールされたものも含め、OS用のドライバ、ユーティリティ、ソフトウェアがすべて含まれています。ただし、サポートCDには、OS本体は含まれていません。出荷時にインストールされていないソフトウェアをインストールするために、サポートCDを使用します。

リカバリCDには、出荷時にハードディスクドライブにインストールされているOSのデータが含まれています。リカバリCDはノートパソコンの包括的な回復ソリューションを提供します。ハードディスクドライブが正常に動作していれば、ノートパソコンのOSを出荷時の状態に素早く復元します。そのような作業が必要になったときは、販売店にお問い合わせください。

 **注：デバイスドライバやユーティリティがインストールされるまで動作しないコンポーネントや機能もあります。**

タッチパッド自動オフ(特定モデルのみ)

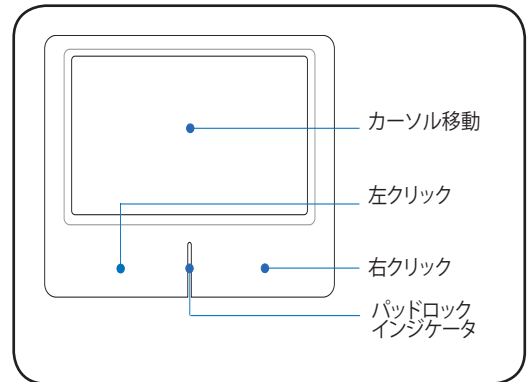
新しいチップセットを使用したノートパソコンでは、外付けUSBマウスを取り付けると自動的にノートパソコンのタッチパッドがオフになります。この機能をオフにするには、コントロールパネル→マウスのプロパティ→デバイス設定に進み、右の図のようにこのオプションのチェックを外してください。



☐ ポインティングデバイス

ノートパソコンに組み込まれたタッチパッドポインティングデバイスはマウスと完全な互換性があります。タッチパッドは感圧性で稼動部分がないため、機械が故障することはありません。ただし、一部のアプリケーションソフトウェアで動作させるためには、デバイスドライバが必要です。

重要: タッチパッドの操作には、指以外は使用しないでください。タッチパッドの表面を傷つける恐れがあります。

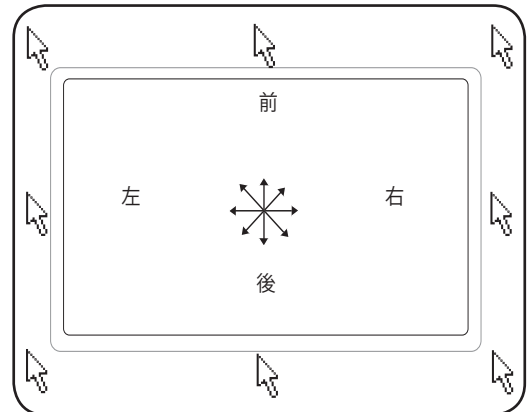


タッチパッドを使用する

タッチパッドの操作は、指先で軽く触れるだけです。タッチパッドは静電気に敏感に反応するため、指以外は使用することはできません。タッチパッドの主な機能は、マウスの代わりに指先を使用して、カーソルを移動したり画面に表示された項目を選択することです。右の図をご参照ください。

カーソルの移動

タッチパッドの中央に指を置き、指をスライドさせてカーソルを動かします。



💡 パッドロックインジケータ(タッチパッドボタンの中央)

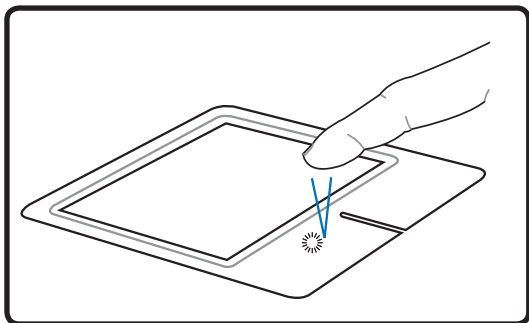
このインジケータは内蔵タッチパッドがアンロック(有効)の状態では点灯します。タイピング中にカーソルが動かないようにする場合や、外付けポインティングデバイスを使用する場合に、タッチパッドをロックします。

4 ノートパソコンを使用する

☐ タッチパッドの使い方

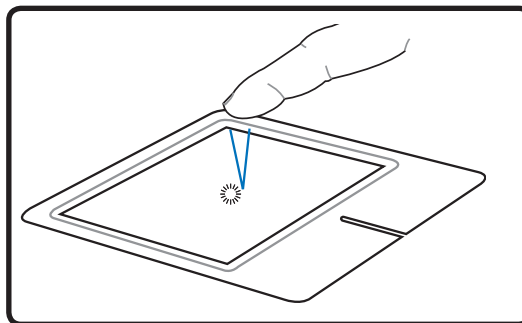
クリック/タップ –カーソルをアイテムの上に置いて、左ボタンを押すか、指先を使用してタッチパッドに軽く触れると、選択されたアイテムの色が変わります。次の2つの例は同じ結果になります。

クリック



左側ボタンを押して離します。

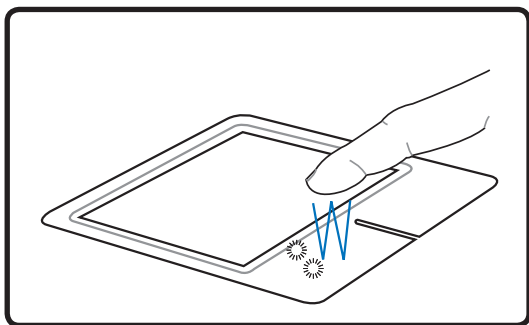
タップ



タッチパッドを軽く素早く打ちます。

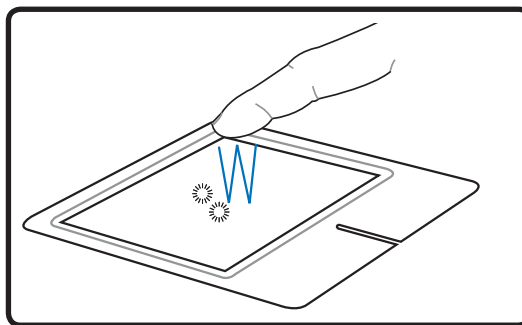
ダブルクリック/ダブルタップ –これは、選択したアイコンから直接プログラムを起動するためのものです。カーソルを実行するアイコンの上に移動し、続けて素早く左ボタンを2度押すか、またはパッドを2度タップすると、システムは対応するプログラムを起動します。クリックまたはタップの間隔が長すぎると、起動できません。また、Windowsのコントロールパネルの[マウス]を使用してダブルクリックの速度を設定することができます。次の2つの例は同じ結果になります。

ダブルクリック



左ボタンを2度押して離します。

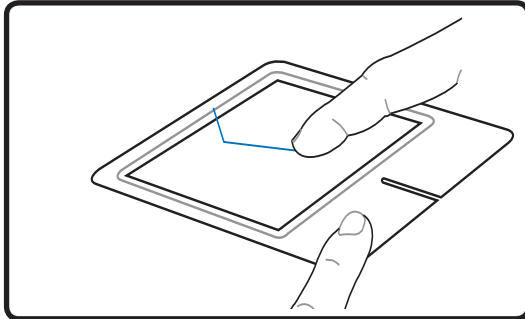
ダブルタップ



タッチパッドを軽く、素早く2度打ちます。

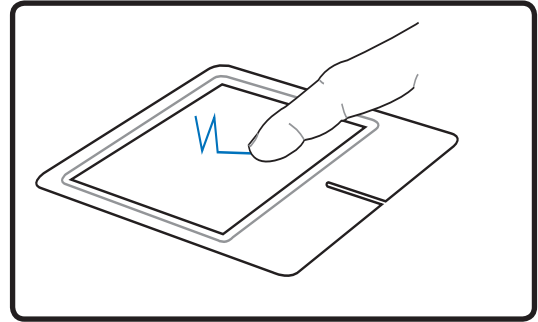
ドラッグードラッグとはアイテムを選択し、移動したい位置に置くことです。選択したアイテムの上にカーソルを移動し、左ボタンを押し下げたまま、カーソルを望みの位置に移動したら、ボタンを離します。または、アイテムをダブルタップし、指先でアイテムを抑えたままドラッグすることもできます。次の2つの例は同じ結果になります。

ドラッグクリック



左ボタンを抑えたまま、タッチパッド上で指をスライドさせます。

ドラッグタップ



タッチパッド上で2回軽くタップし、2回目のタップに続けてタッチパッド上で指をスライドさせます。



注: 付属のタッチパッドユーティリティをセットアップするとスクロール機能が使用可能になり、WindowsやWebを簡単にナビゲートできるようになります。また、基本機能をWindowsのコントロールパネルで調整すると、クリックとタップを快適に行えます。

☐ タッチパッドの手入れ

タッチパッドは感圧式です。適切に取り扱わないと損傷します。次の注意事項を必ず守ってお使いください。

- ・タッチパッドに埃、液体、油分を付着させない。
- ・汚れた指、濡れた指で、タッチパッドに触れない。
- ・タッチパッドやタッチパッドのボタンに、重い物を置かない。
- ・爪や硬い物等でタッチパッドを傷つけない。



注: タッチパッドは力ではなく動きに反応します。表面を強くタップする必要はありません。強くタップしてもタッチパッドの感度は増しません。タッチパッドは軽い圧力にもっとも良く反応します。

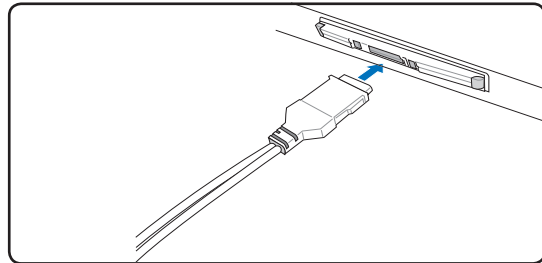
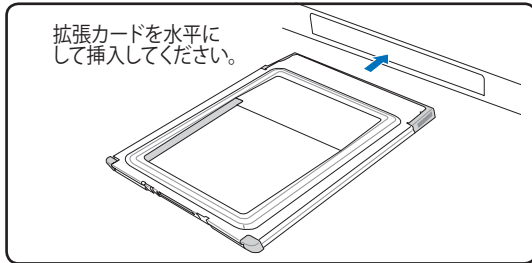
4 ノートパソコンを使用する

記憶装置

ストレージデバイスにより、ノートパソコンは文書や画像、その他のファイルをさまざまなデータ記憶装置に書き込んだり読み込んだりすることができます。このノートパソコンには、以下の記憶装置が実装されています。


- 拡張カード
- 光学ドライブ
- フラッシュメモリーリーダー
- ハードディスクドライブ

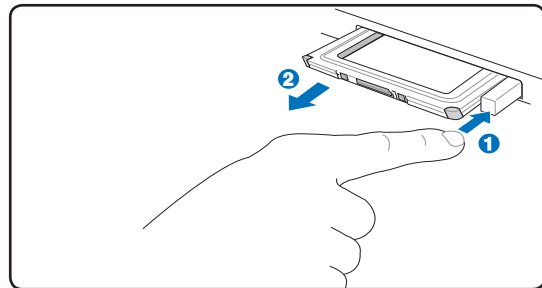
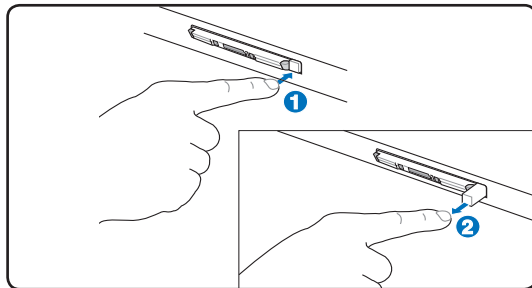
☐ 拡張カードを挿入する



1. 拡張カードソケットプロテクタがある場合は、下の「拡張カードを取り外す」の指示に従ってこれを取り外します。
2. コネクタ側をラベル面を上にしてを差し込みます。標準的な拡張カードは、完全に差し込むとノートパソコンにちょうど収まります。
3. 拡張カードに必要なケーブルやアダプターを接続します。コネクタは一方方向にしか挿入できません。コネクタの面にあるステッカー、アイコン、マーキングのある方が表です。

拡張カードを取り外す

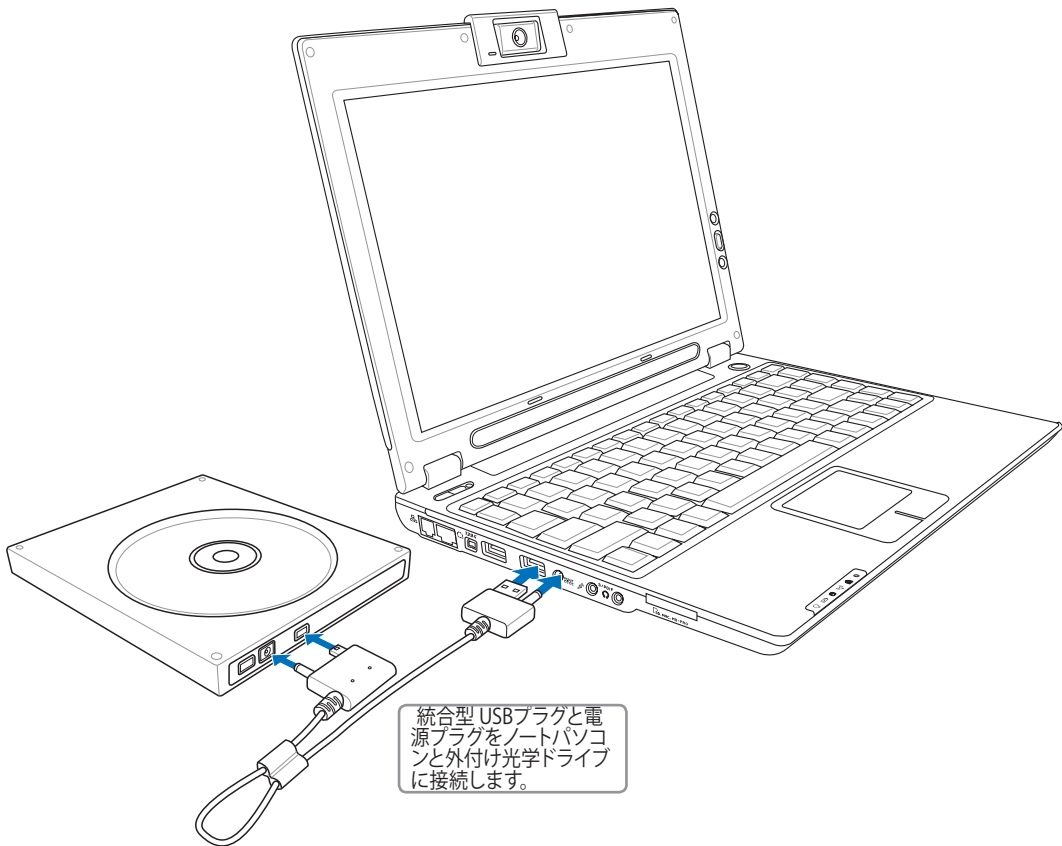
拡張カードを取り外す前に、カードに取り付けられたケーブルやアダプタを取り外します。次にWindows タスクバーの Safely Remove Hardware アイコン  をダブルクリックし、カードの動作を中止します。



1. イジェクトボタンを押して離します。ボタンがバネのように外に出てきます。
2. 再びボタンを押すと拡張カードが出てきますので注意深くソケットから引き出します。

◎ 光学ドライブ（外付けタイプ）**外付け光学ドライブを接続する**

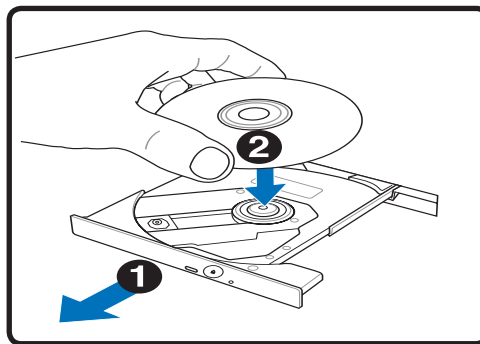
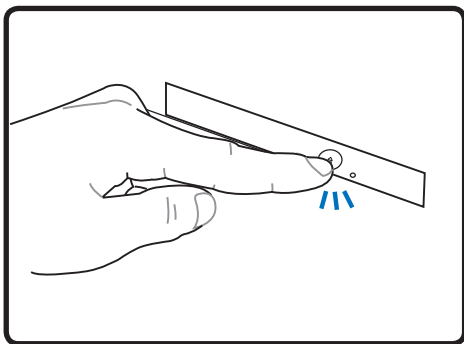
USB 2.0 ポートに光学ドライブを直接接続することができます。外付け光学ドライブには通常追加の電源アダプターが必要ですが、本ノートパソコンは電源出力ジャックを搭載しており、直接接続することができます。



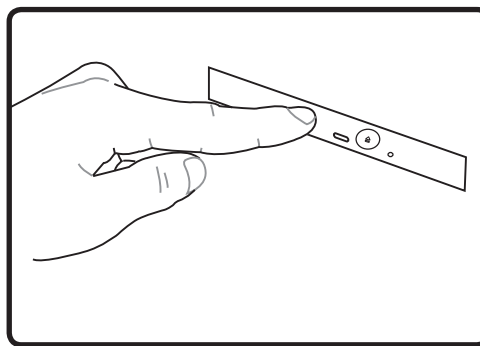
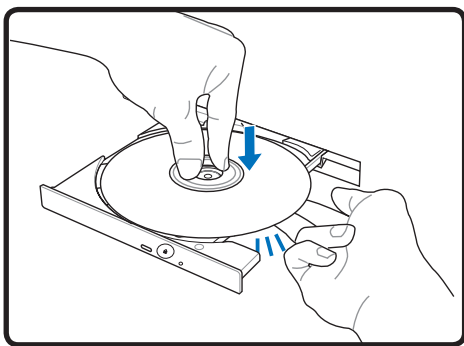
重要：安全に関する情報は、巻末の「参考」をご覧ください。

4 ノートパソコンを使用する

◎ 光学ドライブ (外付けタイプ) 光学ディスクを取り外す



1. ノートパソコンの電源がオンの状態で、ドライブのイジェクトボタンを押すとトレイが半分ほど出てきます。
2. ドライブのフロントパネルをそっと引きながら、トレイをスライドさせて完全に出します。光学ドライブのレンズや他の機械部分には触れないように注意してください。ドライブのトレイの下に障害物がないことを確認してください。

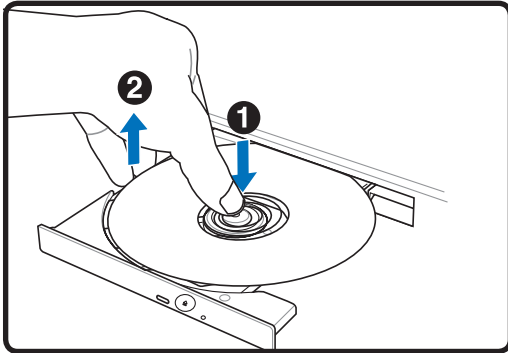


3. ディスクの端を持ちディスクの印刷面を上に向けます。ディスク中央部の両端がハブにパチンと留まるまで押します。正しく取付けられると、ハブはディスクより上に出ます。
4. ドライブのトレイをゆっくり元に戻すと、ドライブはディスクのコンテンツ(TOC)のテーブルの読み込みを開始します。ドライブが停止したら、ディスクを使用できます。

 **注:**データを読み込んでいる最中に、ディスクが高速で回転する音が聞こえますが、これは通常の動作です。

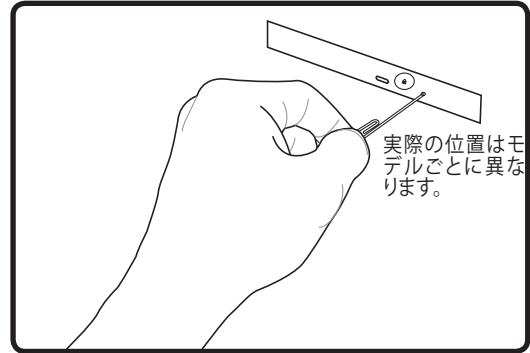
① 光学ドライブ (外付けタイプ)

光学ディスクを取り外す



トレイを外に出し、ハブからディスクの端を持ちそっと上に持ち上げます。

緊急イジェクト



緊急イジェクトは光学ドライブにある穴の中に入り、電子イジェクトが利用できない際に使用します。緊急イジェクトを電子イジェクトの代用とはしないでください。**注: アクティビティインジケータを傷つけないように注意してください。**

光学ドライブを使用する

光学ディスクと装置には、精密な部品が含まれているため、注意して取り扱う必要があります。CDサプライヤの安全に関する重要な指示に従ってください。デスクトップの光学ドライブとは異なり、ノートパソコンはハブを使用して、角度に関わらずCDを所定の位置に固定していますので、CDを挿入するとき、CDを中央ハブにしっかり固定してください。固定しないとドライブトレイがCDを傷付けることがあります。

警告: CDが中央ハブでしっかりロックされていないと、トレイを閉じるときにCDが傷つくことがあります。損傷しないようにトレイをゆっくり閉じながら、CDから絶えず目を離さないようにしてください。

ドライブ内にディスクがなくても、CDドライブ名は表示されています。CDを正しく挿入すると、ハードディスクドライブと同じようにデータにアクセスすることができます。ハードディスクドライブと違うのは、CDにはいっさい書き込みや変更ができないという点です。しかし、適切なソフトウェアを使用すれば、CD-RWドライブまたはDVD+CD-RWドライブは、CD-RWディスクをハードドライブのように使用して、書き込み、削除、編集機能を実行できます。

CD面の印刷により、光学ドライブが振動することがよくあります。振動を抑えるために、平らな面でノートパソコンを使用し、CDにラベルを貼らないようにしてください。

オーディオCDを聞く

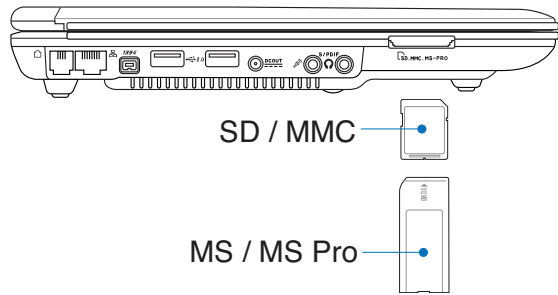
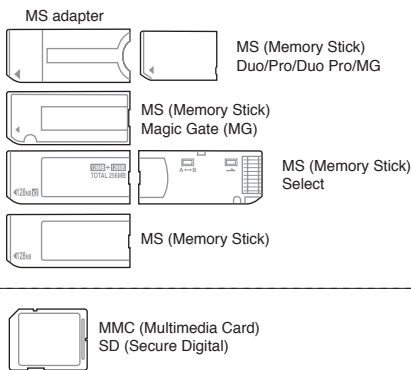
光学ドライブはオーディオCDを再生できますが、DVDオーディオを再生できるのはDVD-ROMドライブだけです。オーディオCDを挿入すると、Windows™がオーディオプレイヤーを自動的に開き、再生を開始します。DVDオーディオディスクとインストールされているソフトウェアによっては、DVDオーディオを聞くためにDVDプレイヤーを開く必要があります。また、ホットキーまたはタスクバーのWindows™スピーカーアイコンを使用して、音量を調整することができます。

4 ノートパソコンを使用する

フラッシュメモリーカードリーダー

通常は、デジタルカメラ、MP3プレイヤー、携帯電話、PDAなどのメモリーカードを使用するために、メモリーカードリーダーを購入する必要があります。このノートパソコンにはメモリーカードリーダーが1基内蔵されており、以下のフラッシュメモリーカードを読み取ることができます。:SDメモリーカード(SD)、マルチメディアカード(MMC)、メモリスティック(MS)、メモリスティックセレクト(MS Select)、メモリスティック Duo(MSアダプタ付き)、メモリスティック Pro、メモリスティック Pro Duo(MS Proアダプタ付き)。メモリスティックは標準のものと、MagicGateテクノロジーに対応している場合があります。内蔵のメモリーカードリーダーは便利であるだけでなく、高いバンド幅のPCIバスを使用しているため、他のほとんどの形式のメモリーカードリーダーより高速で動作します。

サポートするメモリータイプ



重要: データが削除されたり失われたりする恐れがありますので、データの読み込み、コピー、フォーマット、削除などの処理中および処理直後は、決してカードを取り外さないでください。

ハードディスクドライブ

ハードディスクドライブはフロッピーディスクドライブや光学ドライブより大容量かつ高速です。このノートパソコンには交換可能な幅2.5インチ(6.35cm)、および高さ0.37インチ(0.95cm)のHDDが付いています。このハードドライブはS.M.A.R.T.(Self Monitoring and Reporting Technology)をサポートし、ディスクエラーを未然に検出します。HDDの交換・アップグレードの際は、公認のサービスセンター、または正規販売代理店にお問い合わせください。



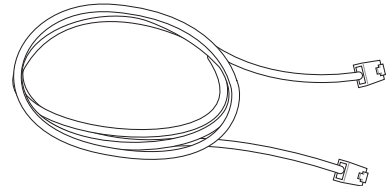
重要: ノートパソコンを移動させる際に誤った取り扱いをすると、ハードディスクドライブが損傷する原因となります。ノートパソコンは注意して取り扱い、静電気や強い振動や衝撃のある場所には近づけないでください。ハードディスクドライブはノートパソコンのもっともデリケートなコンポーネントで、ノートパソコンを落とした場合などに最初に損傷するコンポーネントです。

接続

- 注:内蔵モデムとネットワーク機能を後で取付けることはできません。モデムとネットワーク機能はPCカード(PCMCIA)で取付けることができます。

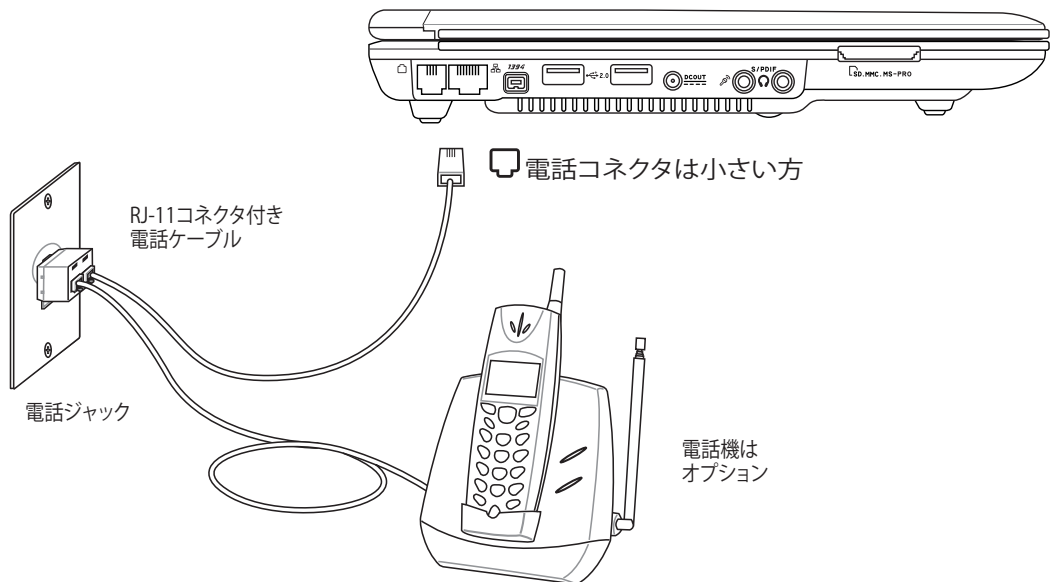
モデム接続

ノートパソコンの内部モデムに接続するために使用する電話線は2線または4線式(モデムは2線式[電話線#1]のみを使用)で、両端にRJ-11コネクタが付いているものが必要です。一方をモデムポートに、もう一方の端をアナログ電話ジャックに接続します。ドライバをセットアップすれば、モデムを使用することができます。



- 注:オンラインサービスに接続しているときは、ノートパソコンをサスペンド状態(もしくは、スリープ)にしないでください。接続が切断されます。

内蔵モデムを使用して電話線に接続したノートパソコンの例




- 重要:** 電気的な安全上の注意として、電話ケーブルは、26AWG以上の規格のものを使用してください。(用語集を参照)

4 ノートパソコンを使用する

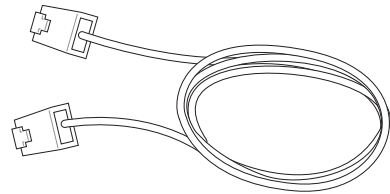
ネットワーク接続


RJ-45のコネクタを両端に使用して、一方をノートパソコン上のネットワークポートに、他方をハブまたはスイッチの末端につなぎます。100BASE-TX / 1000BASE-Tの場合は、カテゴリ5以上(カテゴリ3ではない)のネットワークケーブルとツイストペアケーブルが必要です。100 / 1000Mbps のインターフェイスで稼動する予定の場合は、100BASE-TXハブ / 1000BASE-Tハブ (BASE-T4ハブではない)に接続する必要があります。10BASE-Tの場合はカテゴリ3、4、または5のツイストペアケーブルを使用します。10/100Mbps Full-Duplex (全二重)はこのノートパソコンでサポートされていますが、「Duplex (二重)」を有効にして、ネットワークスイッチングハブに接続する必要があります。ソフトウェアの初期設定にはユーザーの設定を必要としない最速の設定が使用されています。

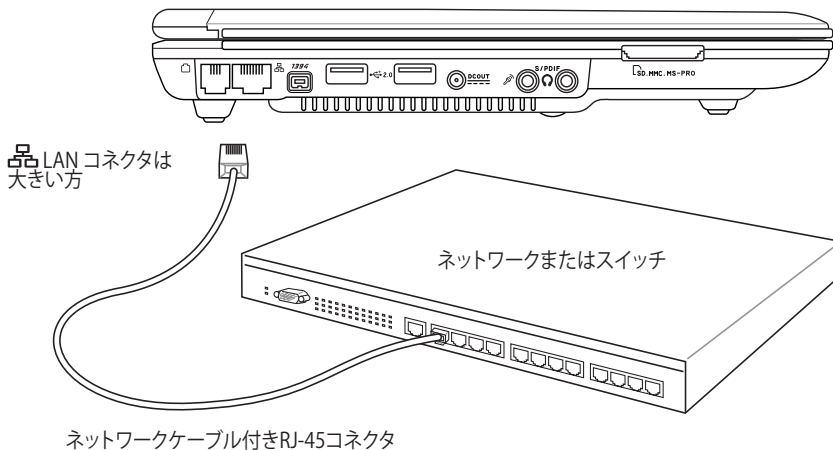
 **1000BASE-T (またはGigabit)は特定モデルのみでのサポートです。**

ツイスト線ケーブル

イーサネットカードをホスト (一般には、ハブまたはスイッチ) に接続するために使用されるケーブルは、(ツイストペアーイーサネット) TPEケーブルと呼ばれています。エンドコネクタはRJ-45コネクタと呼ばれ、RJ-11電話コネクタと互換性はありません。ハブを介さずに2台のコンピュータを接続する場合、クロスケーブルが必要です(ファストイーサネットモデル)。ギガビットモデルは自動クロスオーバー機能に対応していますのでクロスケーブルはオプションです。



 下の図は、ネットワークのハブまたはスイッチとノートパソコンの内蔵イーサネットコントローラとを接続した例です。



警告: アナログの電話ジャックのみを使用してください。内蔵型のモデムでは、デジタル電話システム (ISDN) で使用されている電圧に対応していません。破損の原因になりますので、RJ-11のジャックは商業ビルなどに設置されているデジタル電話システム (ISDN) には接続しないでください。

無線 LAN 接続 (特定モデルのみ)

オプションの内蔵無線 LAN は、コンパクト設計の無線イーサネットアダプターです。無線 LAN (WLAN)対応の IEEE 802.11 規格を実装し、周波数2.4GHz/5GHz、DSSS (Direct Sequence Spread Spectrum) とOFDM (Orthogonal Frequency Division Multiplexing) 技術で高速データ通信を可能にしました。また、IEEE 802.11 規格にも下位互換性があります。

このオプションの内蔵無線 LAN はクライアントアダプターで、インフラストラクチャモードとアドホックモード両方に対応。無線ネットワークの設定に幅がでます。アクセスポイントとクライアントの距離は最高40メートルです。

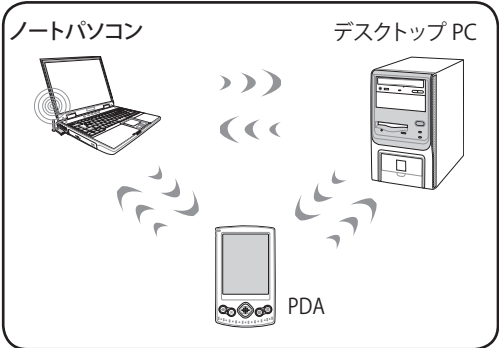
セキュリティをより効果的にするため、オプション内蔵無線LANには 64bit/128bit WEP (Wired Equivalent Privacy) 暗号化方式とWPA (Wi-Fi Protected Access) 機能が搭載されています。

これらは無線ネットワークの一例です。

アドホックモード

ノートパソコンを他の無線デバイスに接続できます。アクセスポイントは不要です。

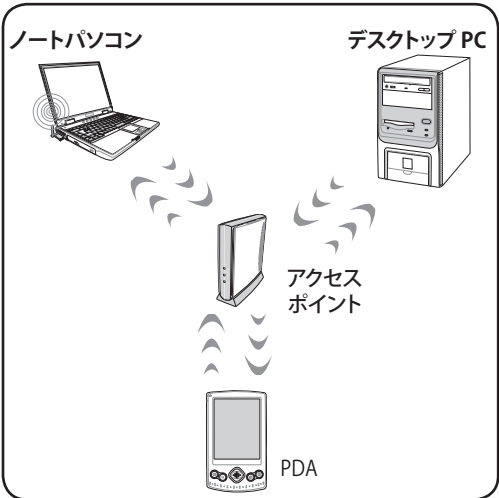
(全てのデバイスにオプションの 802.11 無線 LAN アダプターの取り付けが必要)



インフラストラクチャモード

ノートパソコンと他の無線デバイスをアクセスポイント (別売り) で構築された無線ネットワークに加えることができます。無線クライアント用にセントラルリンクを提供し、無線ネットワーク同士または有線ネットワーク間のコミュニケーションが可能です。

(全てのデバイスにオプションの 802.11 無線 LAN アダプターの取り付けが必要)



4 ノートパソコンを使用する

TPM (Trusted Platform Module) (特定モデルのみ)

TPM (Trusted Platform Module) はシステムボード上のセキュリティチップで、暗号化のためのコンピュータ処理キーを保護します。ハードウェアベースのソリューションで、貴重なデータへのパスワード・暗号キーを盗もうとするハッカーの攻撃を阻止します。アプリケーションの実行をより安定したものにし、円滑なデータ転送を実現します。

このセキュリティ機能は、下の括弧内に記載した、各TPMの持つ暗号化機能により内部的にサポートされています(ハッシュ法、乱数発生、非対称暗号キー方式、非対称暗号/解読方式)。各システムの各TPMは、シリコン製造過程に初期化された独自の署名を持ち、安全性を強化しています。各TPMはセキュリティデバイスとして使用される前に、既にオーナーを持っているわけです。

TPM アプリケーション

TPMはシステムセキュリティを強化します。TPMはオプションのセキュリティソフトと併用することで、システム全体のセキュリティ、ファイルの保護、プライバシー保護を強化できます。BIOSやOSに組み込まれたセキュリティシステムに比べ、遥かに高い安全性を提供します。

注: TPM は初期設定では無効になっています。BIOSメニューで有効にしてください。

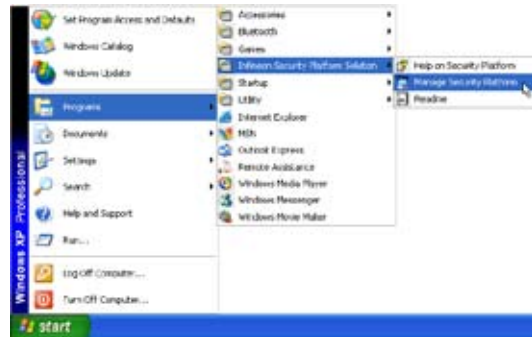
重要: TPM セキュリティデータをバックアップする際は、TPM アプリケーションの「Restore」または「Migration」機能を使用してください。



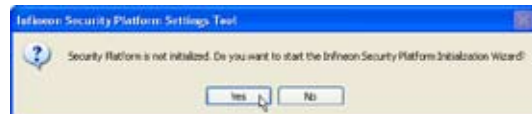
Windows の「コントロールパネル」から「Infinium Security Platform」を起動できます。



Security Platform が実行されると、Windows タスクバーに上のアイコンが表示されます。「Security Platform User Initialization」または「Manage Security Platform」を選択できます。



Windows の「スタート」メニューから「Manage Security Platform」を起動できます。



「Infinium Security Platform」を初めて起動する際は、「Yes」を選択して設定の指示に従います。

電源管理

ノートパソコンには多くの省電力機能が搭載されており、バッテリーの寿命を最大限に伸ばしたりTCO(Total Cost of Ownership)を削減するために使用できます。BIOSセットアップの「電源」メニューを通して、これらの機能の一部を制御できます。ACPI 電源管理設定はOSを通して行えます。電源管理機能は、コンポーネントを頻繁に低消費電力モードにする一方、システムの要求に最大限対応可能で、可能な限り電力を節約できるように設計されています。これらの低パワーモードは「スタンバイ」(またはサスペンド) および「ハイバーネーション」モードまたは休止状態(STD)と呼ばれています。スタンバイモードはオペレーティングシステムが提供する簡単な機能です。ノートパソコンがどちらかの省電力モードに入っているとき、ステータスは次のように表示されます: 「スタンバイ」: 電源LEDの点滅、「ハイバーネーション」: 電源LEDオフ。

フルパワーモード & 最大パフォーマンス

ノートパソコンは、Windows の電源管理とSpeedStep を設定することによって電源管理機能を無効に設定しているとき、フルパワーモードで動作します。フルパワーモードで動作しているとき、電源LEDはオンになっています。システムパフォーマンスを重視する場合は、全ての電源管理機能を無効にして、「最大パフォーマンス」を選択してください。

ACPI

拡張構成および電源インターフェース(ACPI)は、特にWindows以降、電源管理とプラグアンドプレイ機能を制御するためにIntel、Microsoft、Toshiba が開発したものです。ACPI は、ノートパソコン用の電源管理の新しい規格です。



注: APMは以前のOS (Windows NT4やWindows 98など) で使用されていました。Windows XPやWindows 2000やWindows MEでACPI を利用するため、このノートパソコンはAPMを完全にサポートしていません。

サスペンドモード

「スタンバイ」(STR)と「ハイバーネーション」(STD)では、CPUが停止しほとんどのノートパソコンデバイスは最低の状態に入ります。サスペンドモードはノートパソコンの電源状態を最小にします。システムが指定した時間使用されないとき、または[Fn][F1]キーを押すと、ノートパソコンはサスペンドモードに入ります。ノートパソコンがスタンバイモードのとき、電源 LED は点滅します。ハイバーネーションモードに入っていると、ノートパソコンは電源がオフになっているように見えます。スタンバイモードから復帰するには、Fn キー以外の任意のキーを押してください。ハイバーネーションモードから復帰するには電源スイッチを押してください。(電源をオンにする時と同様)

省電力

このモードはCPUクロックを下げるだけでなく、液晶ディスプレイのバックライトを含め、デバイスを低い動作状態にします。システムが一定の時間アイドル状態になっていると、ノートパソコンは「スタンバイ」モードに入ります。時間の設定はWindows の電源管理を通して設定できます。システム操作を回復するには、任意のキーを押します。

4 ノートパソコンを使用する

電源状態の概要

状態	イベントに入る	イベントから出る
「スタンバイ」	・ Windowsスタートボタンを通した「スタンバイ」 ・ Windowsコントロールパネルの「電源管理」を通して設定するタイマ（この設定が最優先されます）	・ 任意のデバイス ・ 低バッテリー
STR（「スタンバイ」） (Suspend to RAM)	・ ホットキー [Fn][F1] -- --	・ モデムポートからの信号 ・ 電源ボタン ・ 任意のキー
STD（「休止状態」） (Suspend to Disc)	・ ホットキー [Fn][F1]	・ 電源ボタン
ソフトオフ	・ 電源ボタン(STRまたはSTDとして定義可能) ・ Windowsスタートボタンを通した「シャットダウン」	・ 電源ボタン

熱パワーコントロール

本製品は、3つの電源コントロール方法によって熱状態を制御します。これらの電源コントロールは、ユーザーが設定することはできません。次の温度は（CPUではなく）ケースの温度を表しています。

- ・ 温度が上限に達すると、ファンがオンになってアクティブ冷却を行います。
- ・ 温度が上限を超えると、CPUは速度を落としてパッシブ冷却を行います。
- ・ 温度が最大上限を超えると、システムはシャットダウンして冷却を行います。

スタンバイ & 休止状態

電源管理設定はWindows のコントロールパネルにあります。電源オプションでは、ディスプレイパネルを閉じたり、電源ボタンを押したり、スリープモードを有効にしたりする際のオプションとして、「スタンバイ」または「シャットダウン」を定義することができます。「スタンバイ」と「休止状態」は、一部のコンポーネントをオフにすることによって、ノートパソコンを使用していないときに、電力を節約します。作業を再開するとき、最後の状態が(例えば、半分ほどスクロールしたドキュメントや途中まで入力した電子メール)再表示されます。「シャットダウン」は全てのアプリケーションを終了します。

「スタンバイ」はSTR (Suspend to RAM) と同じです。この機能は、多くのコンポーネントをオフにして、RAMに現在のデータと状態を保存します。RAMは不安定であるため、データを維持(リフレッシュ)するには多少の電力が必要です。操作方法: [スタート] → [シャットダウン] → [スタンバイ] を選択します。



「休止状態」はSTD (Suspend to Disk) と同じで、ハードディスクドライブに現在のデータと状態を保存します。このオプションは、RAMを周期的にリフレッシュする必要がなくなるので、消費電力を大幅に抑えられますが、LANやモデムのような一部の呼び起こし用のコンポーネントに電力を供給する必要があるため、完全にオフにはされません。「休止状態」は「スタンバイ」よりも多くの電力を節約します。操作方法: 「電源オプション」で休止状態を有効にし、[スタート] → [シャットダウン] → [休止状態] を選択します。



付録

オプション(アクセサリ)

オプション(コネクション)

用語集

Declarations and Safety Statements

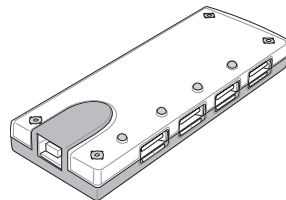
オーナー情報

オプション(アクセサリ)

これらのアイテムは、必要に応じて、ノートパソコンにオプションとして追加することができます。

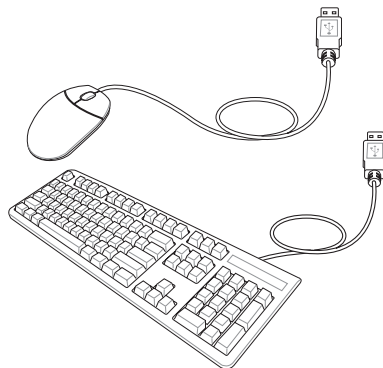
⇄ USBハブ(オプション)

オプションのUSB ハブを接続し、USBポートを追加するれば、1本のケーブルを通して多くのUSB周辺装置への接続/取り外しが簡単に行えるようになります。



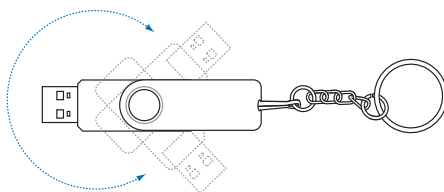
⇄ USB キーボードとマウス

外付け USB キーボードで、快適にデータ入力。外付け USB マウスで快適に Windows ナビゲーション。外付けの USB キーボードとマウスは、ノートパソコン内蔵のキーボードとタッチパッドを動作させたまま同時にお使いいただけます。



⇄ USBフラッシュメモリディスク


USB フラッシュメモリディスクは、1.44MB フロッピーディスクに代わり、より高い転送速度と耐久性を実現しながら、数百メガバイトのデータを記憶することができます。現在のOSで使用するとき、ドライバは必要ありません。



☑ USB フロッピーディスクドライブ

オプションのUSBインターフェースFDDを装備すると、標準の1.44MB(または720KB) 3.5インチフロッピーディスクが使用可能です。



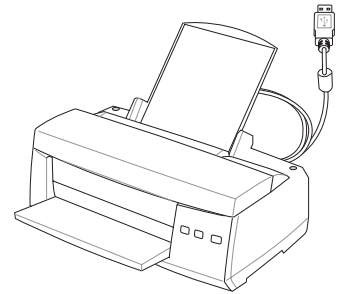
警告: システム障害を避けるために、USB FDDを取り外す前に、タスクバーの  (ハードウェアの安全な取り外しアイコン)を使用してください。ノートパソコンを移動させる場合はフロッピーディスクを取り出してください。衝撃で損傷することがあります。

オプション(コネクション)

これらのアイテムは、必要に応じて、サードパーティからお求めになることができます。

⇄ プリンタ接続

1台または複数のUSBプリンタを任意のUSBポートに同時に接続できます。



用語集

ACPI (Advanced Configuration and Power Management Interface)

コンピュータシステムの統合的電源管理方法の規格。

APM (Advanced Power Management)

コンピュータシステムの節電方法の規格。

AWG (American Wire Gauge)



注:この表は一般的な参照用です。この表は最新ではなく、また完全でない可能性がありますので「American Wire Gauge」規格の原本として用いないでください。

Gauge AWG	Diam (mm)	Area (mm ²)	R (ohm/km)	I@3A/mm ² (mA)	Gauge AWG	Diam (mm)	Area (mm ²)	R (ohm/km)	I@3A/mm ² (mA)
33	0.18	0.026	676	75	24	0.50	0.20	87.5	588
	0.19	0.028	605	85		0.55	0.24	72.3	715
32	0.20	0.031	547	93		0.60	0.28	60.7	850
30	0.25	0.049	351	147	22	0.65	0.33	51.7	1.0 A
29	0.30	0.071	243	212		0.70	0.39	44.6	1.16 A
27	0.35	0.096	178	288		0.75	0.44	38.9	1.32 A
26	0.40	0.13	137	378	20	0.80	0.50	34.1	1.51 A
25	0.45	0.16	108	477		0.85	0.57	30.2	1.70 A

BIOS (Basic Input/Output System)

バイオス:基本入出力システム。メモリ・ディスク・ビデオといったPCを構成する各種部品の制御を実行する。BIOSは基本的にコンピュータ内に格納され、コンピュータのROM上に展開して用いられる。BIOSの設定値はセットアッププログラムにより変更可能で、EEPROM書き込みツールでBIOSそのものをアップデート可能である。

Bit (Binary Digit:2進法)

ビット:コンピュータ上で使われるデータ量を表す最少単位。0または1の値を持つ。

Boot

ブート:メインメモリにOSをロードすることにより、コンピュータを起動することを言う。「起動する」「立ち上げる」とも言う。マニュアルに「ブートする」とあれば、それはコンピュータの電源をオンにすること。「リブート」は再起動のこと。

Byte (Binary Term)

バイト:8bitで1Byteである。「B」とも書く。

Clock Throttling

チップセットが持つ、CPUのクロックを制御する機能。節電・温度管理・CPU速度の制御を行う。

CPU (Central Processing Unit)

中央演算処理装置:「プロセッサ」とも表記される。コンピュータの頭脳にあたる。処理に割り込みをかけ、命令を実行し、データをメモリに保存する。

Device Driver

デバイスドライバ:単にドライバともいう。ビデオ、サウンド、プリンタ、モデムといった機器をOSで制御できるようにする、それ専用の命令のセット。デバイスは装置の意味。

DVD

DVDは大きな高速CDで、ビデオだけでなくオーディオやコンピュータデータを保存できる。これらの容量とアクセス速度を持ったDVDディスクは、劇的に強化されたハイカラー、フルモーションビデオ、優れたグラフィックス、鮮明な画像、そしてDolby® Digitalサラウンドを提供して、劇場空間を実現。DVDはホームエンタテインメント、コンピュータ、ビジネス情報を単一のデジタルフォーマットで記録して、最終的にはオーディオCD、ビデオテープ、レーザーディスク、CD-ROM、さらにはビデオゲームカートリッジの媒体となることを目的としている。

ExpressCard

ExpressCard スロットは 26 ピンで ExpressCard/34mm × 1 または ExpressCard/54mm × 1 の拡張カードをサポートします。この新しいインターフェースは、USB 2.0 と PCI Express をサポートするシリアルバスを利用することにより、PCカードスロットで使われていたパラレルバスよりも高速になります。(PCMCIA カードとの互換性はありません。)

Hardware

ハードウェア:コンピュータシステムの物理的な構成機器・部品のこと。プリンタやモデムなどの周辺機器も含む。

IDE (Integrated Drive Electronics)

ハードディスク等のIDEデバイスは、その装置自身に制御回路が搭載され、SCSIのような個別のアダプターカードを必要としない。UltraDMA/33の33は、33MB/秒のデータ転送速度を持つことを示している。

IEEE1394 (1394)

iLINK (Sony) または FireWire (Apple)とも呼ばれる。IEEE1394は、SCSIと同様の高速シリアルバスであるが、USBの様にホットプラグに対応しており、取り扱いが簡単になっている。データ転送速度は、400-1000 Mビット/秒で、1つのバスに63台までの機器を接続できる。パラレル・SCSI・EIDEに変わる新しいインターフェースで、特に「DV」と呼ばれるデジタルビデオカメラ用のインターフェースによく利用されている。

Infrared Port (IrDA) (特定モデルのみ)

赤外線ポート:赤外線を利用した無線データ通信手段で、4 Mビット/秒のデータ転送速度を持つ。コンピュータにPDA・携帯電話・プリンタなどを接続するのに利用される。オフィスなどでは、IrDAを利用したネットワークがサポートされている場合があり、IrDAノードに直接接続することが可能である。IrDAネットワークを用いるとプリンタやファイルの共有ができ、また、邪魔になるケーブルが必要ないので持ち歩くことの多いノートパソコンに適した方式である。

Kensington® Locks

Kensington®は、コンピュータのセキュリティ関連商品を取り扱っているメーカーである。Notebook PCを持ち去られないように金属製ワイヤで固定することが出来る製品がある。また、対象物を動かした時に音で警報を発する機能を持つ製品もある。(日本のPC関連雑誌にも広告が記載)

LASER Classifications

レーザーは近年頻繁にまた広範囲に使用されるようになってきているため、レーザーのレーザー光線障害をユーザーに警告する必要性が明らかになってきている。この必要性を満たすために、レーザー分類が制定された。現在の分類レベルは光学的に安全であり、制御を必要としない(Class 1)からきわめて危険で、厳しい制御を必要とする(Class 4)までさまざまである。

CLASS 1: Class 1レーザーまたはレーザーシステムは目に安全なレベルの光学的エネルギーを放射し、それ故に制御を必要としない。このクラスのレーザーシステムの例は、ほとんどの食品店で見られる清算スキャニング装置または光ドライブで使用されるレーザーである。

CLASS 2とCLASS 3A: Class 2とClass 3Aレーザーは目に見える、最大許容露光量(MPE)レベルより少し上の持続波(CW)光学的放射レベルを放射する。これらのレーザーは目に損傷を与えることもあるが、その明るさのために通常、観測者はすぐ目をそらすかまばたきをするので目に損傷をうけることはない。これらのレーザーは厳しい管理統制を行い、光線を直接見ないように警告する人員配置の標識が要求される。Class 3Aレーザーを光学補助デバイスで見てはならない。

CLASS 3B: Class 3Bレーザー、および2.5mWの出力を持つClass 3Aレーザーは光線路内において、光源を直接または正反射した光を見た場合人体に害をおよぼすが、拡散反射は無害である。これらのレーザーは危険な拡散反射を引き起こさない。これらのレーザーを扱う作業員は、レーザーを操作している間、目を保護する適切な眼鏡をする必要がある。Class 3Bレーザーは作業員を保護するために、管理統制および物的管理を受け、物的管理には、作業区域の制限付き利用が含まれる。管理統制には、レーザー作業領域への入り口の外側に貼られた特殊な警告標識、およびレーザーを使用していることを作業員に知らせる入り口の外側のランプが含まれる。

CLASS 4: Class 4レーザーは高出力レーザーで、光線内を見ることによって、正反射または拡散反射によって、保護していないと、目や皮膚に損傷を与える原因となる。適切な保護眼鏡を着用せずにClass 4レーザーを操作している場所には、入ることはできない。

PCI Bus (Peripheral Component Interconnect Local Bus)

データ転送用のバスとして定義される。今日では拡張カードの標準となっている。

POST (Power On Self Test)

ポスト:電源投入時の自己診断。コンピュータの電源を入れた時、一番最初に行われる。POSTは、メモリ・マザーボード回路・ディスプレイ・キーボード・ディスクドライブおよび他の入出力装置をチェックする。

RAM (Random Access Memory)

ランダム・アクセス・メモリ:DRAM (Dynamic RAM), EDO DRAM (Extended Data Output DRAM), SDRAM (Synchronous DRAM)などの種類がある。

Suspend Mode

サスペンドモード:コンピュータの休止状態のことで、本製品では、Save-to-RAM(STR)状態のことをいう。CPUのクロックが停止し、電力消費は最低限に押さえられる。Notebook PCが一定時間アクセスされないと自動的にサスペンドモードに移行するようにBIOSセットアップで設定できる。また、Fnキーを用いて手動でサスペンドさせることも可能である。サスペンドモード中は、ノートパソコンの電源LEDが点滅する。

System Disk

システムディスク:OSの基本ファイルを含み、コンピュータとOSを起動するのに用いられる。

TPM (Trusted Platform Module) (特定モデル)

TPM は暗号化用にキーを作成するシステムボードのセキュリティハードウェアデバイス。ハードウェアベースのソリューションで、ハッカーによる攻撃から機密データを保護する。TPM によって、パソコン、ノートパソコンでのアプリケーションを起動をより安全に、トランザクションや通信の信頼性がより高くなる。

Twisted-Pair Cable

ツイストペアケーブル:より対線のこと。イーサネット用ケーブルに用いられており、TPE(Twisted Pair Ethernet)と呼ばれる。両端には、RJ-45コネクタが取り付けられており、ハブやネットワークカードに接続できるようになっている。(RJ-11=電話機用コネクタとの違いに注意。互換性はない)

UltraDMA/66、UltraDMA/100

UltraDMA/66、または 100 はIDE 転送率を向上させた仕様。IDEのデータシグナルの立ち上がりシングルエッジのみでデータを転送した従来のPIOモードとは異なり、UltraDMAでは、立ち上がり立ち下がりの両方のエッジを用いてデータの転送速度を向上させている。Ultra ATAとも書く。

USB (Universal Serial Bus)

シリアルバスで、キーボード・マウス・ジョイスティック・スキャナ・プリンタ・モデム・ディスプレイなどのデータを1種類の信号で共有できる、トークン方式のインターフェースである。他の機器が稼働中でもケーブルの抜き差しが出来る。1つのケーブルで同期・非同期方式に対応しており、最大転送速度は12Mビット/秒である。USB2.0では、スピードが倍にあがり、これは、1394規格に匹敵する。

Declarations and Safety Statements

DVD-ROMドライブ情報

ノートパソコンには、オプションでDVD-ROMドライブまたはCD-ROMドライブが付いています。DVDタイトルを表示するには、DVD再生ソフトウェアをインストールする必要があります。DVD再生ソフトウェアは、このノートパソコンとともにお求めになることができます。またDVD-ROMドライブでは、CDとDVDディスクのどちらも使用することができます。

地域再生情報

DVDムービータイトルの再生には、MPEGビデオの復号、デジタルオーディオ、CSS保護されたコンテンツの復号化が含まれます。CSS (コピーガードと呼ばれることもある) は動画産業が採用したコンテンツ保護計画の名称で、違法コピーを防ぐものです。

CSSライセンスに課された設計規則はたくさんありますが、もっとも適切な規則の一つは、地域化されたコンテンツに関する再生の制限です。場所によって異なるムービーのリリースを円滑にするために、DVDビデオタイトルは下の「地域定義」で定義された特定の地域に対してリリースされています。著作権は、全てのDVDムービーを特定の地域 (普通、販売されている地域に対してコード化されている) に限定するよう要求しており、DVDムービーコンテンツは、複数の地域でリリースされるので、CSSの設計規則はCSSで暗号化されたコンテンツを再生できるどのシステムも、一つの地域でしか再生できないようになっています。



注: 地域設定は再生ソフトウェアを使用して、5回まで変更することができます。5回変更後は、DVDムービーは最後の地域設定に対してのみ再生することができます。

地域定義

地域1

カナダ、米国、米国の領土

地域2

チェコ、エジプト、フィンランド、ドイツ、ペルシア湾岸諸国、ハンガリー、アイスランド、イラン、イラク、アイルランド、イタリア、日本、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、サウジアラビア、スコットランド、南アフリカ、スペイン、スウェーデン、スイス、シリア、トルコ、イギリス、ギリシア、前ユーゴスラビア共和国、スロバキア

地域3

ビルマ、インドネシア、韓国、マレーシア、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ、ベトナム

地域4

オーストラリア、西インド諸島 (米国領土を除く)、中央アメリカ、ニュージーランド、太平洋諸島、南アメリカ大陸

地域5

CIS、インド、パキスタン、その他のアフリカ諸国、ロシア、朝鮮民主主義人民共和国

地域6

中国

□ 内蔵モデムの適応規格(規格/プロトコルなど原文掲載)

The Notebook PC with internal modem model complies with JATE (Japan), FCC (US, Canada, Korea, Taiwan), and CTR21. The internal modem has been approved in accordance with Council Decision 98/482/EC for pan-European single terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point. In the event of problems you should contact your equipment supplier in the first instance.

Overview

On 4th August 1998 the European Council Decision regarding the CTR 21 has been published in the Official Journal of the EC. The CTR 21 applies to all non voice terminal equipment with DTMF-dialling which is intended to be connected to the analogue PSTN (Public Switched Telephone Network).

CTR 21 (Common Technical Regulation) for the attachment requirements for connection to the analogue public switched telephone networks of terminal equipment (excluding terminal equipment supporting the voice telephony justified case service) in which network addressing, if provided, is by means of dual tone multifrequency signalling.

Network Compatibility Declaration

Statement to be made by the manufacturer to the Notified Body and the vendor: "This declaration will indicate the networks with which the equipment is designed to work and any notified networks with which the equipment may have inter-working difficulties"

Network Compatibility Declaration

Statement to be made by the manufacturer to the user: "This declaration will indicate the networks with which the equipment is designed to work and any notified networks with which the equipment may have inter-working difficulties. The manufacturer shall also associate a statement to make it clear where network compatibility is dependent on physical and software switch settings. It will also advise the user to contact the vendor if it is desired to use the equipment on another network."

Up to now the Notified Body of CETECOM issued several pan-European approvals using CTR 21. The results are Europe's first modems which do not require regulatory approvals in each individual European country.

Non-Voice Equipment

Answering machines and loud-speaking telephones can be eligible as well as modems, fax machines, auto-dialers and alarm systems. Equipment in which the end-to-end quality of speech is controlled by regulations (e.g. handset telephones and in some countries also cordless telephones) is excluded.

Internal Modem Compliancy (Cont.)

This table shows the countries currently under the CTR21 standard.

<u>Country</u>	<u>Applied</u>	<u>More Testing</u>
Austria ¹	Yes	No
Belgium	Yes	No
Czech Republic	No	Not Applicable
Denmark ¹	Yes	Yes
Finland	Yes	No
France	Yes	No
Germany	Yes	No
Greece	Yes	No
Hungary	No	Not Applicable
Iceland	Yes	No
Ireland	Yes	No
Italy	Still Pending	Still Pending
Israel	No	No
Lichtenstein	Yes	No
Luxemburg	Yes	No
The Netherlands ¹	Yes	Yes
Norway	Yes	No
Poland	No	Not Applicable
Portugal	No	Not Applicable
Spain	No	Not Applicable
Sweden	Yes	No
Switzerland	Yes	No
United Kingdom	Yes	No

This information was copied from CETECOM and is supplied without liability. For updates to this table, you may visit http://www.cetecom.de/technologies/ctr_21.html

¹ National requirements will apply only if the equipment may use pulse dialling (manufacturers may state in the user guide that the equipment is only intended to support DTMF signalling, which would make any additional testing superfluous).

FC Federal Communications Commission Statement

This device complies with FCC Rules Part 15. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference, and
- This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.



WARNING! The use of a shielded-type power cord is required in order to meet FCC emission limits and to prevent interference to the nearby radio and television reception. It is essential that only the supplied power cord be used. Use only shielded cables to connect I/O devices to this equipment. You are cautioned that changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void your authority to operate the equipment.

(Reprinted from the Code of Federal Regulations #47, part 15.193, 1993. Washington DC: Office of the Federal Register, National Archives and Records Administration, U.S. Government Printing Office.)

CE CE Mark Warning

This is a Class B product, in a domestic environment, this product may cause radio interference, in which case the user may be required to take adequate measures.

FC FCC Radio Frequency Interference Requirements

This device is restricted to INDOOR USE due to its operation in the 5.15 to 5.25GHz frequency range. FCC requires this product to be used indoors for the frequency range 5.15 to 5.25GHz to reduce the potential for harmful interference to co-channel of the Mobile Satellite Systems.

High power radars are allocated as primary user of the 5.25 to 5.35GHz and 5.65 to 5.85GHz bands. These radar stations can cause interference with and / or damage this device.



IMPORTANT: This device and its antenna(s) must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

FC FCC Radio Frequency (RF) Exposure Caution Statement

This equipment complies with FCC RF exposure limits set forth for an uncontrolled environment. To maintain compliance with FCC RF exposure compliance requirements, please follow operation instructions in the user's manual. This equipment is for operation within 5.15 GHz and 5.25GHz frequency ranges and is restricted to indoor environments only.



FCC Caution: Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment. "The manufacturer declares that this device is limited to Channels 1 through 11 in the 2.4GHz frequency by specified firmware controlled in the USA."

R&TTE Directive (1999/5/EC)

The following items were completed and are considered relevant and sufficient for the R&TTE (Radio & Telecommunications Terminal Equipment) directive:

- Essential requirements as in [Article 3]
- Protection requirements for health and safety as in [Article 3.1a]
- Testing for electric safety according to [EN 60950]
- Protection requirements for electromagnetic compatibility in [Article 3.1b]
- Testing for electromagnetic compatibility in [EN 301 489-1] & [EN 301]
- Testing according to [489-17]
- Effective use of the radio spectrum as in [Article 3.2]
- Radio test suites according to [EN 300 328-2]

Wireless Operation Channel for Different Domains

N. America	2.412-2.462 GHz	Ch01 through CH11
Japan	2.412-2.484 GHz	Ch01 through Ch14
Europe ETSI	2.412-2.472 GHz	Ch01 through Ch13

France Restricted Wireless Frequency Bands

Some areas of France have a restricted frequency band. The worst case maximum authorized power indoors are:

- 10mW for the entire 2.4 GHz band (2400 MHz–2483.5 MHz)
- 100mW for frequencies between 2446.5 MHz and 2483.5 MHz

NOTE: Channels 10 through 13 inclusive operate in the band 2446.6 MHz to 2483.5 MHz.

There are few possibilities for outdoor use: On private property or on the private property of public persons, use is subject to a preliminary authorization procedure by the Ministry of Defense, with maximum authorized power of 100mW in the 2446.5–2483.5 MHz band. Use outdoors on public property is not permitted.

In the departments listed below, for the entire 2.4 GHz band:

- Maximum authorized power indoors is 100mW
- Maximum authorized power outdoors is 10mW

Departments in which the use of the 2400–2483.5 MHz band is permitted with an EIRP of less than 100mW indoors and less than 10mW outdoors:

01 Ain Orientales	02 Aisne	03 Allier	05 Hautes Alpes
08 Ardennes	09 Ariège	11 Aude	12 Aveyron
16 Charente	24 Dordogne	25 Doubs	26 Drôme
32 Gers	36 Indre	37 Indre et Loire	41 Loir et Cher
45 Loiret	50 Manche	55 Meuse	58 Nièvre
59 Nord	60 Oise	61 Orne	63 Puy du Dôme
64 Pyrénées Atlantique	66 Pyrénées	67 Bas Rhin	68 Haut Rhin
70 Haute Saône	71 Saône et Loire	75 Paris	82 Tarn et Garonne
84 Vaucluse	88 Vosges	89 Yonne	90 Territoire de Belfort
94 Val de Marne			

This requirement is likely to change over time, allowing you to use your wireless LAN card in more areas within France. Please check with ART for the latest information (www.art-telecom.fr)

NOTE: Your WLAN Card transmits less than 100mW, but more than 10mW.



UL Safety Notices

Required for UL 1459 covering telecommunications (telephone) equipment intended to be electrically connected to a telecommunication network that has an operating voltage to ground that does not exceed 200V peak, 300V peak-to-peak, and 105V rms, and installed or used in accordance with the National Electrical Code (NFPA 70).

When using the Notebook PC modem, basic safety precautions should always be followed to reduce the risk of fire, electric shock, and injury to persons, including the following:

- **Do not use** the Notebook PC near water, for example, near a bath tub, wash bowl, kitchen sink or laundry tub, in a wet basement or near a swimming pool.
- **Do not use** the Notebook PC during an electrical storm. There may be a remote risk of electric shock from lightning.
- **Do not use** the Notebook PC in the vicinity of a gas leak.

Required for UL 1642 covering primary (non-rechargeable) and secondary (rechargeable) lithium batteries for use as power sources in products. These batteries contain metallic lithium, or a lithium alloy, or a lithium ion, and may consist of a single electrochemical cell or two or more cells connected in series, parallel, or both, that convert chemical energy into electrical energy by an irreversible or reversible chemical reaction.

- **Do not** dispose the Notebook PC battery pack in a fire, as they may explode. Check with local codes for possible special disposal instructions to reduce the risk of injury to persons due to fire or explosion.
- **Do not** use power adapters or batteries from other devices to reduce the risk of injury to persons due to fire or explosion. Use only UL certified power adapters or batteries supplied by the manufacturer or authorized retailers.



Power Safety Requirement

Products with electrical current ratings up to 6A and weighing more than 3Kg must use approved power cords greater than or equal to: H05VV-F, 3G, 0.75mm² or H05VV-F, 2G, 0.75mm².

 **Nordic Lithium Cautions (for lithium-ion batteries)**

CAUTION! Danger of explosion if battery is incorrectly replaced. Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer. Dispose of used batteries according to the manufacturer's instructions. (English)

ATTENZIONE! Rischio di esplosione della batteria se sostituita in modo errato. Sostituire la batteria con un una di tipo uguale o equivalente consigliata dalla fabbrica. Non disperdere le batterie nell'ambiente. (Italian)

VORSICHT! Explosionsgetahr bei unsachgemäßen Austausch der Batterie. Ersatz nur durch denselben oder einem vom Hersteller empfohlenem ähnlichen Typ. Entsorgung gebrauchter Batterien nach Angaben des Herstellers. (German)

ADVARSEL! Lithiumbatteri - Eksplosionsfare ved fejlagtig håndtering. Udsiftning må kun ske med batteri af samme fabrikat og type. Levér det brugte batteri tilbage til leverandøren. (Danish)

WARNING! Explosionsfara vid felaktigt batteribyte. Använd samma batterityp eller en ekvivalent typ som rekommenderas av apparattillverkaren. Kassera använt batteri enligt fabrikantens instruktion. (Swedish)

VAROITUS! Paristo voi räjähtää, jos se on virheellisesti asennettu. Vaihda paristo ainoastaan laitevalmistajan suosittellemaan tyyppiin. Hävitä käytetty paristo valmistagan ohjeiden mukaisesti. (Finnish)

ATTENTION! Il y a danger d'explosion s'il y a remplacement incorrect de la batterie. Remplacer uniquement avec une batterie du même type ou d'un type équivalent recommandé par le constructeur. Mettre au rebut les batteries usagées conformément aux instructions du fabricant. (French)

ADVARSEL! Eksplosjonsfare ved feilaktig skifte av batteri. Benytt samme batteritype eller en tilsvarende type anbefalt av apparatfabrikanten. Brukte batterier kasseres i henhold til fabrikantens instruksjoner. (Norwegian)

注意：バッテリーの交換は正しく行ってください。破裂する危険があります。交換の際は、メーカーが指定したバッテリーをお使いください。廃棄の際は、メーカーの指示に従って行ってください。(Japanese)

Optical Drive Safety Information

Laser Safety Information

Internal or external optical drives sold with this Notebook PC contains a CLASS 1 LASER PRODUCT. Laser classifications can be found in the glossary at the end of this user's manual.



WARNING: Making adjustments or performing procedures other than those specified in the user's manual may result in hazardous laser exposure. Do not attempt to disassemble the optical drive. For your safety, have the optical drive serviced only by an authorized service provider.

Service warning label



CAUTION: INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. DO NOT STARE INTO BEAM OR VIEW DIRECTLY WITH OPTICAL INSTRUMENTS.

CDRH Regulations

The Center for Devices and Radiological Health (CDRH) of the U.S. Food and Drug Administration implemented regulations for laser products on August 2, 1976. These regulations apply to laser products manufactured from August 1, 1976. Compliance is mandatory for products marketed in the United States.



WARNING: Use of controls or adjustments or performance of procedures other than those specified herein or in the laser product installation guide may result in hazardous radiation exposure.

Macrovision Corporation Product Notice

This product incorporates copyright protection technology that is protected by method claims of certain U.S.A. patents and other intellectual property rights owned by Macrovision Corporation and other rights owners. Use of this copyright protection technology must be authorized by Macrovision Corporation, and is intended for home and other limited viewing uses only unless otherwise authorized by Macrovision Corporation. Reverse engineering or disassembly is prohibited.

CTR 21 Approval (for Notebook PC with built-in Modem)

Danish

«Udstyret er i henhold til Rådets beslutning 98/482/EF EU-godkendt til at blive opkoblet på de offentlige telefonnet som enkeltforbundet terminal. På grund af forskelle mellem de offentlige telefonnet i de forskellige lande giver godkendelsen dog ikke i sig selv ubetinget garanti for, at udstyret kan fungere korrekt på samtlige netterminaleringspunkter på de offentlige telefonnet.

I tilfælde af problemer bør De i første omgang henvende Dem til leverandøren af udstyret.»

Dutch

«Dit apparaat is goedgekeurd volgens Beschikking 98/482/EG van de Raad voor de pan-Europese aansluiting van enkelvoudige eindapparatuur op het openbare geschakelde telefoonnetwerk (PSTN). Gezien de verschillen tussen de individuele PSTN's in de verschillende landen, biedt deze goedkeuring op zichzelf geen onvoorwaardelijke garantie voor een succesvolle werking op elk PSTN-netwerkaansluitpunt.

Neem bij problemen in eerste instantie contact op met de leverancier van het apparaat.»

English

'The equipment has been approved in accordance with Council Decision 98/482/EC for pan-European single terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However, due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.

In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.'

French

«Cet équipement a reçu l'agrément, conformément à la décision 98/482/CE du Conseil, concernant la connexion paneuropéenne de terminal unique aux réseaux téléphoniques publics commutés (RTPC). Toutefois, comme il existe des différences d'un pays à l'autre entre les RTPC, l'agrément en soi ne constitue pas une garantie absolue de fonctionnement optimal à chaque point de terminaison du réseau RTPC.

En cas de problème, vous devez contacter en premier lieu votre fournisseur.»

German

«Dieses Gerät wurde gemäß der Entscheidung 98/482/EG des Rates europaweit zur Anschaltung als einzelne Endeinrichtung an das öffentliche Fernsprechnetz zugelassen. Aufgrund der zwischen den öffentlichen Fernsprechnetzen verschiedener Staaten bestehenden Unterschiede stellt diese Zulassung an sich jedoch keine unbedingte Gewähr für einen erfolgreichen Betrieb des Geräts an jedem Netzabschlusspunkt dar.

Falls beim Betrieb Probleme auftreten, sollten Sie sich zunächst an Ihren Fachhändler wenden.»

Italian

«La presente apparecchiatura terminale è stata approvata in conformità della decisione 98/482/CE del Consiglio per la connessione paneuropea come terminale singolo ad una rete analogica PSTN. A causa delle differenze tra le reti dei differenti paesi, l'approvazione non garantisce però di per sé il funzionamento corretto in tutti i punti di terminazione di rete PSTN.

In caso di problemi contattare in primo luogo il fornitore del prodotto.»

Portuguese

«Este equipamento foi aprovado para ligação pan-europeia de um único terminal à rede telefónica pública comutada (RTPC) nos termos da Decisão 98/482/CE. No entanto, devido às diferenças existentes entre as RTPC dos diversos países, a aprovação não garante incondicionalmente, por si só, um funcionamento correcto em todos os pontos terminais da rede da RTPC.

Em caso de problemas, deve entrar-se em contacto, em primeiro lugar, com o fornecedor do equipamento.»

Spanish

«Este equipo ha sido homologado de conformidad con la Decisión 98/482/CE del Consejo para la conexión paneuropea de un terminal simple a la red telefónica pública conmutada (RTPC). No obstante, a la vista de las diferencias que existen entre las RTPC que se ofrecen en diferentes países, la homologación no constituye por sí sola una garantía incondicional de funcionamiento satisfactorio en todos los puntos de terminación de la red de una RTPC.

En caso de surgir algún problema, procede ponerse en contacto en primer lugar con el proveedor del equipo.»

Japanese Notice

本装置は、第二種情報装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しております。

しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に、近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。本書の説明にしたがって正しい取り扱いをしてください。

Japanese Modem Notice

本製品を日本で使用する場合は必ず日本国モードでご使用ください。他国のモードをご使用になると電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。なお、ご購入時は初期値が日本国モードとなっておりますので、そのままご利用ください。

② オーナー情報

テクニカルサポートを受けるときの参照用にパソコンの情報を記録しておいてください。
ここにパスワードを記載した場合には、本書の取り扱いにご注意ください。

名前: _____ 電話番号: _____

製品名: _____ 型番: _____ シリアルナンバー: _____

ディスプレイサイズ: _____ 解像度: _____ メモリサイズ: _____

販売店: _____ 支店名: _____ 購入日: _____

ハードディスクメーカー: _____ 容量: _____

光学ドライブメーカー: _____ タイプ: _____

BIOS バージョン: _____ 日付: _____

アクセサリー: _____

アクセサリー: _____

ソフトウェア

OS: _____

バージョン: _____ シリアルナンバー: _____

ソフトウェア: _____ バージョン: _____ シリアルナンバー: _____

ソフトウェア: _____ バージョン: _____ シリアルナンバー: _____

セキュリティ

管理者名: _____ 管理者パスワード: _____

ユーザーネーム: _____ ユーザーパスワード: _____

ネットワーク

ユーザーネーム: _____ パスワード: _____ ドメイン: _____

Copyright について

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS)の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証も行いません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害（利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む）に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、内容は予告なしに変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容について、ASUSは責任を負いません。

Copyright © 2006 ASUSTeK COMPUTER INC. All Rights Reserved.

責任制限

この責任制限はASUSの、或は他の責任の不履行により、ユーザーがASUSから損害賠償を受ける権利が生じた場合に発生します。

このようなケースが発生した場合は、ユーザーのASUSに損害賠償を請求する権利の有無にかかわらず、ASUSは肉体的損害（死亡したケースを含む）と不動産及び有形動産への損害のみに賠償責任を負います。或は、それぞれの製品の記載された協定価格を限度とし、「Warranty Statement」のもとに生じる法的義務の不作为または不履行に起因するいかなる実害と直接的な被害のみに対して賠償責任を負います。

ASUSは「Warranty Statement」に基づき、不法行為または侵害行為が発生した場合と、契約に基づく損失や損害が生じた場合及びその主張に対してのみ賠償し、責任を負います。

この責任制限は、ASUSの供給者または販売代理店にも適用されます。賠償の際は、ASUSとその供給者及び購入した販売代理店を一集合体としてその限度額を定めており、その限度額に応じた賠償が行われます。

以下のケースに対しては、ASUSとその供給者及び販売代理店がその可能性を指摘されている場合においても、ASUSはいかなる賠償及び保証を行いません。

- (1) ユーザーが第三者から請求されている申し立て
- (2) ユーザーの個人情報やデータの損失
- (3) 特殊、偶発的、或は間接的な損害、または貯蓄や諸利益を含むあらゆる結果的な経済的損害

サービスとサポート

マルチ言語サポートサイトを開設しました。下のリンクで「Language」から「Japanese」を選択してください。

<http://support.asus.com>